電気設備工事特記仕様書

特記仕様書の適用について

本工事においては国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」(以下 標仕という)による。
設計図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、共仕および標仕による。
特記仕様書の章、節、項番号及び表番号は、追加の場合を除き共仕および標仕の当該番号とする。
特記仕様書の以下の表記は、次による。
【読替】：共仕、標仕の当該章、節、項の規定を特記の規定に読み替える。
【追加】：共仕、標仕の章、節、項の規定に新たに章、節、項を追加する。
特記事項の内、選択肢のあるものは、●の付いたものを適用し、○印は適用しない。

1 適用基準

（a）公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２８年版）
電気設備工事編：第２編以降
（b）公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２８年版）
（c）電気設備工事監理指針　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（平成２８年版）
（d）建築設備設計・施工上の運用指針　日本建築設備・昇降機センター
（２０１３年版）

2 工事種目および工事区分

（1）工事種目

- ○ 受変電設備工事
  - ○ 特別高圧受変電設備
  - ○ 高圧受変電（変電）設備
- ○ 発電設備工事
  - ○ 非常用発電設備
  - ○ 常用発電設備
  - ○ 燃料電池発電設備
  - ○ 太陽光発電設備
  - ○ 風力発電設備
  - ○ 小水力発電設備
- ○ 電力貯蔵設備工事
  - ○ 直流電源設備
  - ○ 交流無停電電源（ＵＰＳ）設備
- ○ 中央監視（電力監視）制御設備工事
- ● 動力設備工事
  - ● 動力幹線設備
  - ● 動力分岐設備
- ● 電灯設備工事
  - ● 電灯幹線設備
  - ● 電灯分岐設備
  - ● 照明器具設備
  - ○ 照明制御設備
  - ● コンセント分岐設備
- ● 電熱設備工事
- ○ 雷保護設備工事
- ○ 航空障害灯設備工事
- ○ 緊急救助用照明設備工事
- ○ ヘリポート照明設備工事
- ○ 構内情報通信網設備工事
- ○ 構内交換設備工事
  - ○ 電話配管配線設備
  - ○ 構内交換設備
- ○ 情報表示設備工事
  - ○ 情報表示設備
  - ○ 出退表示設備
  - ○ 時刻表示設備
- ○ 映像・音響設備工事
- ● 拡声設備工事
- ○ 誘導支援設備工事
  - ○ 音声誘導設備
  - ○ インターホン設備
  - ○ トイレ等呼出設備
- ○ テレビ共同受信設備工事
- ○ テレビ電波障害防除設備工事
- ○ ナースコール設備工事
- ● 監視カメラ設備工事
- ● 駐車場管制設備工事
- ○ 電気自動車用充電設備工事
- ○ 防犯・入退室管理設備工事
  - ○ 防犯設備
  - ○ 入退室管理設備
- ● 火災報知設備工事
  - ● 自動火災報知設備
  - ○ 自動閉鎖設備
  - ○ 非常警報設備工事
  - ○ ガス漏れ火災警報設備
- ○ 無線通信補助設備工事
- ○ 舞台照明設備工事
- ○ 舞台音響設備工事
- ● 構内配電線路設備工事
  - ● 電力引込設備
  - ○ 外灯設備
  - ○ その他電力設備
- ○ 構内通信線路設備工事
  - ○ 電話引込設備
  - ○ その他通信設備
- ○
- ○
- ○
- ○

● 見積書の項目順序は、工事種目順とする。
● 改修、撤去の項目順序も工事種目順とする。
● 一般管理費、現場管理費、共通仮設費は、別項目として計上する。
● 一括発注時の現場雑費は、各設備項目内に計上せずに、別計上として計上する。

（2）見積区分

（a）見積要綱等で別途指示がない場合には、本特記仕様書における２工事種目および工事区分の（１）に沿って、見積を作成すること。
（b）特別高圧受変電設備と高圧受変電設備の区分は、特別高圧変圧器二次側高圧フィーダー盤までを特別高圧受変電設備に含める。
（c）接地極及び接地端子盤までの接地配線は、受変電設備に含める。
（d）接地端子盤以降の共用接地配線がある場合は、電灯幹線設備に含める。
（e）共用接地配線からの分岐は、動力は動力幹線設備、電灯は電灯幹線設備に含める。直接構造体接続の場合も同様とする。
（f）動力制御盤は動力分岐設備に含み、電灯分電盤は電灯分岐設備に含める。
（g）電力用ケーブルラックは、専用の場合はそれぞれ該当する設備に含むが、共用の場合は電灯幹線設備に含める。
（h）通信端子盤及び通信用ケーブルラックは、専用の場合はそれぞれ該当する設備に含むが、通信・電話共用の場合は電話配管配線設備に含める。
（i）電力引込設備の範囲は受変電設備への接続までとする。
（j）機械設備工事及び建築工事との工事区分は、共通特記仕様書等によるほか、図示による。

3 耐震措置

（1）一般事項

（a）機器、配管、ダクト等は耐震処理とし堅固に据付け、取り付けまたは支持を行う。
（b）耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版（一般財団法人日本建築センター）」、「非構造部材の耐震設計指針・同解説による耐震設計・施工要領（日本建築学会）」「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修）平成８年版」による。

（2）耐震グレードの設定

（a）建物別の耐震グレード
● 一般の施設　（　　）棟
○ 特定の施設　（　　）棟
○ 特に重要な施設　（　　）棟

（b）クラス区分

対象機器	耐震グレード		
	一般の施設	特定の施設	特に重要な施設
重要機器	● クラスＳ ○ クラスＡ	● クラスＳ ○ クラスＡ	● クラスＳ ○ クラスＡ
一般機器	○ クラスＳ ○ クラスＡ ● クラスＢ	○ クラスＳ ● クラスＡ ○ クラスＢ	● クラスＳ ○ クラスＡ ○ クラスＢ

重要機器は以下の機器とする。
配電盤（受変電設備機器含む）
発電装置
ＵＰＳ装置
直流電源装置
動力制御盤，分電盤
電話交換機
火災報知受信機
各種監視装置（中央監視、ＥＬＶ監視、ＩＴＶ監視等）
防災アンプ
１９インチラック（情報用）
燃料小出槽
冷却水槽

（c）保有水平耐力比（値は共通概要書参照）
保有水平耐力比が1.3以上となる場合、以下（３）における設計用震度算出時に耐震クラスＡ以上とする。

（3）設計用震度

（a）設計用震度の算出方法

該当建物	設計用震度の算出方法
（　　）棟	○ 局部震度法	○ 建築物の時刻歴応答解析の結果を用いる方法 ○ 地上60mを超える建物　○ 免震構造 ○ 制震構造　○ その他（　　）
（　　）棟	○ 局部震度法	○ 建築物の時刻歴応答解析の結果を用いる方法 ○ 地上60mを超える建物　○ 免震構造 ○ 制震構造　○ その他（　　）
（　　）棟	○ 局部震度法	○ 建築物の時刻歴応答解析の結果を用いる方法 ○ 地上60mを超える建物　○ 免震構造 ○ 制震構造　○ その他（　　）

→（b）を適用　→（d）を適用

（b）設計用水平震度および設計用鉛直震度（局部震度法）

局部震度法を適用する設備の設計用水平震度（Ks）は以下とする。
設計用鉛直震度はKsの1/2とした値とする。

設置場所	機器種別	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
上層階 屋上および 塔屋	機器	2.0	1.5	1.0
	防振設置機器	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	0.6
	防振設置機器	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	0.6
１階 および 地下階	機器	1.0	0.6	0.4
	防振設置機器	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	0.6

（c）階の定義

階の定義は以下とする。

建築階数	上層階	中間階	備　考
2～6	最上階	地下1階 1階 上層階 を除く 各階	階の区分けは階高さの中間とする。 床面設置の機器はその階の値を、天井面・天井内設置の機器・配管ケーブルラックなどはその上の階の値を使用する。 平屋建ての屋根は上層階とする。
7～9	上層2階		
10～12	上層3階		
13～17	上層4階		
18～19	上層5階		
20～	上層6階		

（d）設計用水平震度および設計用鉛直震度（時刻歴応答解析）

建築物の時刻歴応答解析の結果を用いる方法を適用する設備の設計用水平震度(Ks)は以下とする。
設計用鉛直震度はKsの1/2とした値とする。

設置場所	機器種別	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
屋上および塔屋	機器			
	防振設置機器			
	水槽類			
上層階（　階～　階）	機器			
	防振設置機器			
	水槽類			
中間階（　階～　階）	機器			
	防振設置機器			
	水槽類			
中間階（　階～　階）	機器			
	防振設置機器			
	水槽類			
１階および地下階	機器			
	防振設置機器			
	水槽類			

（e）免震クリアランス

躯体と設備機器や設備配管とのクリアランスを確保する。また、免震層に設置する配管やケーブルは、変位吸収装置の設置や配線余長によりその必要クリアランスを確保する。クリアランス値は共通概要書を参照。

（4）その他

（a）軽量機器の耐震
100kg以下の軽量な機器においても耐震処置を行う。ただし、監理者の承認を得た場合はこの限りではない。

（b）天井取付器具の耐震補強
軽量鉄骨天井下地における耐震性を考慮した補強としては、照明器具及び大型設備機器は天井下地から吊らず、別の骨組みを組んで躯体から直接吊る。
システム天井における耐震性を考慮した補強として照明器具は、Ｔバー頭部の取付金具に載せ架け、かつバネ，ビスによる浮き上がり防止、又はワイヤー２本により吊りボルトに取り付ける等の落下防止を行う。
重量の大きい器具は専用の吊りボルトで直吊りする。
設備プレートは、設備ゾーンのＴバーに載せ架け、かつ金具をＴバーに引っ掛け、紐でつなぐ等の落下防止を行う。

（c）耐震施工
横引き配管等の耐震措置は、共仕に基づき施工計画書を作成し、係員の承認を得る。

4 塩害対策

海岸より２km以内に設置する電気設備機器には下記対策を施す。

（a）屋外に設置される盤および部材は防錆用下地処理を施した後、エポキシ系塗料またはウレタン樹脂系塗料にて100μm以上の塗装膜厚を確保する。
尚、防錆処理については上記と同等以上の品質が確保される場合は、その他の方法でもよい。

（b）ステンレス製の金属部材に使用するボルト、ナット、座金等は、ステンレス製を用いる。

（c）溶融亜鉛めっきを施した金属部材に使用するボルト、ナット、座金等は、溶融亜鉛めっきを施したものとする。

5 見本施工

（a）見本施工範囲は下記とする。
（　　）
（　　）
（　　）

（b）見本施工に設置するものは、総合図に明記するすべてのものとする。

（c）見本施工に使用したものを再利用し、本体工事に再設置しない。

6 建築物省エネルギー消費性能適合性判定

（a）「省エネ適合判定」は、下記による。
○ 標準入力法　○ モデル建物法　○ 国土交通大臣による認定

（b）「省エネ適合判定」の計画書・添付図書に記載されたメーカー定格能力、台数仕様を変更する場合、受注者は変更該当部分の１次エネルギー消費量および計算書等を作成し、基準値以内にあることを確認の上、監理者へ提出する。なお、第三者認証（日本工業規格（JIS）など）による確認を受けられない機材を選定する場合は、メーカーの自己適合宣言書などをもとに書類作成し、監理者へ提出する。

（c）受注者は、「省エネ基準工事監理報告書」に記載されている事項について、資料を準備し、監理者へ提出する。（施工写真，施工図，施工計画書，検査記録書，製品ラベル，自主検査記録書，納入仕様書，品質証明書等）

第１編　一般共通事項

第１章　一般事項

第１節　総則

1.1.5 設計図書等の取扱い【追加】
（a）図面に記載された能力、機能等は表記された内容以上の性能を有するものとする。

1.1.6 別契約の関連工事
（a）別契約工事において、施工上密接に関連する工事については、監理者の調整に協力し、当該工事関係者と共に工事全体の円滑な施工に務める。

【追加】（b）支給する材料及び機器は下記とする。

工事種目	品名	数量	品質(規格及び性能)	引渡場所	引渡時期

（c）発注者直接工事は下記とする。

工事種目	品名	施工場所	施工時期	発注先

【追加】（d）補助金対象工事は下記とする。
（　　）

【追加】（e）補助金の申請に関わる書類作成（竣工後の報告書作成を含む）について、作成および協力の業務は本工事に含むものとする。

1.1.12 関係法令等の遵守【追加】
（a）建築基準法、消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、興業場法、高圧ガス保安法、建築物省エネ法、火災予防条例などの各種法令、各種条例などに準拠し、施工すること。これら該当する法令、条例などについてまとめ（調査、整理）監理者に提出する。

第２節　工事関係図書

1.2.3 施工図等【追加】
（a）免震層及び屋上には、メンテナンスルート及び非免震部材との離隔を確認・図示する。
（b）施工図等は、防火区画，防煙区画・防火上主要な間仕切り，延焼ライン等を明記する。
（c）電気室、発電機室などは、3DCAD等を用いて、性能・メンテナンス上、問題がないことを確認する。
（d）免震層は、3DCAD等を用いて、性能・メンテナンス上、問題がないことを確認する。
（e）照明配置は点滅区分図、色温度区分図、照明器具種別(写真付)図、照度分布図を作成し、監理者の確認を受ける。
（f）放送区分図、防犯エリア図を作成し、監理者の確認を受ける。
（g）監視カメラの映像範囲図を作成し、監理者の確認を受ける。
（h）その他監理者が要求する施工図等を作成する。

第４節　機器および材料

1.4.1 環境への配慮【追加】
（a）国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定めるところにより、極力環境負荷を低減できる材料を選択し、そのリストを監理者に提出し協議する。

1.4.2 機材の品質等【追加】
（a）各機器の選定においては、施工図等に基づいた各種計算書の再計算を行い、監理者の承認を受けること。
- ● 変圧器容量計算書
- ○ 発電機容量計算書
- ● 照度計算書、照度分布図
- ○ 蓄電池容量計算書
- ○ 過電流保護協調計算書
- ○ 避雷針風圧強度計算書
- ○ ケーブルラック計算書
- ○
- ○
- ○ 高調波電流計算書
- ● 幹線容量計算書
- ○ テレビ出力レベル計算書
- ○ 増幅器容量計算書
- ○ 地絡保護協調計算書
- ○ コンデンサ容量計算書
- ● 耐震計算書
- ○
- ○

（b）特別高圧受変電設備、高圧受変電設備、発電設備、直流電源装置、無停電電源装置等は、防振装置の選定に当たっては防振材選定計算書，許容騒音に対する伝搬騒音計算書により確認する。
（c）各システムで使用する同一機器がある場合は、将来のメンテナンスを考慮し、極力同一製造業者とする。
（d）天井、壁に設置する、照明器具、配線器具、弱電機器等のサンプル品を提出し、仕様、色味等の確認を行うこと。
（e）資機材の選定は、製造業者の同等新製品への移行時期を確認の上、同等性能以上の最新機器を納入する。
（f）停電時に電源供給する負荷がある場合、各部屋毎に供給する負荷毎のリストを作成し、監理者に提出の上、確認を受ける。

1.4.3
機材の搬入
【追加】

（ａ）電気機材の搬入について、手順や安全対策、資格者の確認等を記載した搬入計画書を作成し、監理者の確認を受けること。また搬入後速やかに搬入報告書を監理者に提出すること。

1.4.4
機材の検査等
【追加】

（ａ）電気設備場外立会検査試験の対象は下記とする。

機器名	備考	機器名	備考

（ｂ）場外立会検査試験　共通事項は下記とする。
- ● 場外立会検査にあたり、試験内容は監理者との協議による。
- ● 設計変更等により、監理者が騒音、振動や性能機能上、場外立会検査が必要と判断した場合、協議の上、上記以外の項目についても場外立会検査を行う。
- ● 設計監理者、発注者が、場外検査および場外試験の立会に要する交通費，宿泊費等の実費は受注者負担とする。

第５節　施工

1.5.1
施工
【追加】

（ａ）足場桟橋類
- ● 建築工事請負者が定置したものは無償で使用できる。
- ○ 本工事ですべて設置する。

（ｂ）工事用仮設物
構内に設置することが　○ できる　● できない

（ｃ）残土処分
- ○ 構内指示の場所に敷きならしとする。
- ● 構外搬出とし、搬出処理費は本工事とする。

（ｄ）塗装工事
- ● 屋内、屋外の施工時に行う塗料は、ホルムアルデヒド等放散量の極力少ないものを選定し、ＪＩＳ等の材料規格において放散量の規格がある場合はＦ☆☆☆☆とする。

金属管の塗装
- ● 屋外の露出管路　○ 電気室、発電機室、通信機械室の露出配管
- ○ 地下部分のトレンチ内配管、ケーブルラックは溶融亜鉛メッキ
- ● 諸機械室、ＥＰＳ以外の露出配管

（ｅ）電線・ケーブル
- ● 分電盤、動力制御盤、端子盤などの二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監理者の承認を受けて変更できる。
- ● 長さ１ｍ以上の通線を行わない配管には、導入線（1.2mm以上の樹脂被覆線等）を挿入する。
- ● 幹線の各盤への立下げは、図示が無い場合はケーブルラックによる。
- ● 機械室、電気室等不特定多数の者の出入りしない場所以外に敷設する耐火ケーブルをケーブルラックにより布設する部分は、ケーブルラックの側面及び下部面を耐火ボード等により遮蔽する。（東京消防庁管内のみ）
- ● 二重天井内のケーブルを集中して束ねる場合は、許容電流について必要な補正を行い、配線の太さに影響を与えない範囲で束ねる。
- ● 屋上に布設のケーブルラック及び配管は、筋交いなどの耐震措置を行い躯体に堅牢に支持する。
- ● 電動機接続部は、ケーブルサイズが電動機端子台より大きくなる場合は、プルボックスによる施工とする。
- ● 同一のボックスやハンドホール、ＯＡフロア内に電力線及び弱電流線を布設するときは、相互が接触しないように隔壁を取り付ける。

（ｆ）躯体埋込配管
- ● 躯体埋込配管は、建築工事の鉄筋コンクリート構造基準図、および躯体内埋込配管等の補強及び配管要領による。
- ● 屋上躯体埋込配管は行わず、露出配管方式，ケーブルラック方式等により、施工する。

（ｇ）地中配線
- ● 電力引込み、通信引込みケーブル及び低圧幹線ケーブルには、埋設シートを設ける。

（ｈ）接地極
- ● 接地極は、図中特記なきは下記による。
- ● 接地極ごとに水切端子を２個設置する。

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
共用接地	$E_{A,D}$	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
共用接地	$E_{A,C,D}$	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
Ａ種接地	E_A	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
Ｂ種接地	E_B	Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
Ｃ種接地	E_C	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
Ｄ種接地	E_D	100Ω以下	EB(14φ)×１(L＝1,000mm)　以上
高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
交換装置用	E_t	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
通信用（10Ω）	E_{At}	10Ω以下	EB(14φ)×３連ー２組　以上
通信用（100Ω）	E_{Dt}	100Ω以下	EB(10φ)×１(L＝1,000mm)　以上
電話引込口の保安器用	E_{Lt}	100Ω以下	EB(10φ)×１(L＝1,000mm)　以上
測定用	E_0		EB(10φ)×１(L＝1,000mm)　以上

（ｉ）サージ保護装置（ＳＰＤ）
下記の機器およびその電源部には、ＳＰＤを設置する。
- 電力監視装置および中央監視装置
- 自動火災報知設備受信機
- 防災アンプ
- エレベーター監視盤
- ＩＴＶ監視装置
- 防犯機器、入退室管理機器
- 照明制御盤
- 屋外設置の動力制御盤、電灯分電盤、端子盤
- 屋外線路に接続される動力制御盤、電灯分電盤、端子盤
- その他設計図による

（ｊ）大地の抵抗率の測定
○ 要　● 不要

（ｋ）機器取付高さ
機器取付高さは、図面に特記なき場合は、下記による。
但し、これによりがたい場合には監理者と協議する。

	名　称	測点	取付高　(mm)
共通	取引用計器	地上ー窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上ー中心	1,800～2,200
	分電盤	床上ー中心	1,500
			(上端1,900以下)
電灯	スイッチ	床上ー中心	1,300
	スイッチ（身体障害者用）	床上ー中心	1,100
	コンセント（一般）	床上ー中心	300
	コンセント（和室）	床上ー中心	150
	コンセント（台上）	台上ー中心	150～200
	コンセント（厨房）	床上ー中心	800～1,000
	コンセント（車庫）	床上ー中心	1,300
	コンセント（機械室）	床上ー中心	500～1,000
	コンセント（屋外）	ＧＬー中心	500以上
	ブラケット（一般）	床上ー中心	2,100～2,300
	ブラケット（踊場）	床上ー中心	2,000～2,500
	ブラケット（鏡上）	鏡上端ー中心	150
動力	壁掛形制御盤	床上ー中心	1,500
			(上端1,900以下)
	開閉器箱	床上ー中心	1,500
	操作スイッチ	床上ー中心	1,300
電話	端子盤（室内）	床上ー下端	300
	集合保安器箱	天井下ー上端	200
	壁付アウトレット（一般）	床上ー中心	300
	壁付アウトレット（踊場）	床上ー中心	150
時計・拡声	壁掛形親時計	床上ー中心	1,500
			(上端1,900以下)
	子時計	床上ー中心	天井高×0.9
	壁掛形スピーカー	床上ー中心	天井高×0.9
	壁付アッテネーター	床上ー中心	1,300
表示	表示盤	床上ー中心	天井高×0.9
	壁付発信器	床上ー中心	1,300
	ベル・ブザー・チャイム	床上ー中心	2,300
	壁付押しボタン（一般）	床上ー中心	1,300
インターホン	壁付インターホン	床上ー中心	1,300
	壁付インターホン(身体障害者)	床上ー中心	1,100
	壁付アウトレット（一般）	床上ー中心	300
	壁付アウツレット（和室）	床上ー中心	150
	壁付押しボタン(身体障害者便所)	床上ー中心	1,100
	壁付押しボタン(身体障害者便所)	床上ー中心	300
テレビ共同受信	機器収容箱	天井下ー上端	200
	テレビ端子（一般）	床上ー中心	300
	テレビ端子（和室）	床上ー中心	150
火災報知	受信機・副受信機	床上ー中心	800ー1,500
	機器収容箱	床上ー中心	800ー1,500
	発信機	床上ー中心	800ー1,500
	ベル	床上ー中心	2,300
	表示灯	床上ー中心	2,100
	液化石油ガス用検知器	床上ー上端	300

（ｌ）申請費用等
竣工引渡しまでに必要な諸費用のうち、次のものは本工事として見込む。
- 諸官庁などの申請費用（防災センター評価または防災設備に係わるシステム評価申請費などを含む。）
- 工事検査に必要な光熱水費（発電機運転試験燃料など）
- 発電装置燃料は主燃料槽及び燃料小出槽共満油にて引渡しとする。

1.5.4
施工の検査に伴う試験
【追加】

各設備の施工後の測定を行う。
（ａ）構造体利用とした接地極、環状接地極、網状接地極又は基礎接地極の場合における接地抵抗測定（電圧降下法による）
測定時期（ ○ 接地極完成時　○ 建物完成時 ）
測定回数（ 2 回）
（ｂ）医用接地の接地抵抗測定（電圧降下法による）
測定箇所（ ○ 全箇所　○ 指定する箇所　箇所 ○　　）
（ｃ）照　度　一般照明は主要室
非常用照明は全室
（ｄ）発電機　騒音測定　（ 機側１ｍ、排気口１ｍ、敷地境界 ）
（ｅ）音　響　検査対象室（　　）
検査機関（　　）
検査項目　○ 遮音性能　○ 室内音響特性
○ 設備騒音測定　○ 電気音響設備動作試験
（ｆ）電磁シールド
検査対象室（　　）
（ｇ）その他
（　　）

第６節　完成、検査

完成、検査
1.6.1
【追加】

（ａ）関係官庁その他、中間、竣工完成に関わる検査は、受注者がその責任において行う。監理者の立会が必要な場合は連絡する。

第７節　完成図等

完成時の提出図書
1.7.1
【追加】

（ａ）竣工後のデータ収集
建物引渡後2年間の使用エネルギーデータ（毎月使用電力量）をまとめ提出する。

第２章　共通工事

第１節　仮設工事

2.1.1
一般事項
【追加】

監理者事務所の設置
- ● 建築工事に含む
- ○ 本工事で設ける場合は下記による

（ａ）監理者事務所の規模
- ○ 20㎡程度（机2、6人掛けテーブル1、書棚1，他）
- ○ 40㎡程度（机4、6人掛けテーブル1、書棚2，他）
- ○ 60㎡程度（机6、6人掛けテーブル2、書棚3，他）
- ○ 100㎡程度（机10、6人掛けテーブル4、書棚5，他）
- ○ 　㎡程度（　　）

上記のほかトイレを設置する。
上記のほか更衣室を設置する。（男女別　ロッカー３人用）
上記のほかに（ 10 ）人程度が着席可能な会議室を設置。
（受注者等と共用で可）
上記に要する費用は、維持、運用費を含め受注者の負担とする。

（ｂ）監理者事務所の備品等
監理者事務所には、照明・電力・給排水衛生・冷暖房等の設備を設け、次の備品を含む。
電話、A3版対応カラー複合機、シュレッダー、机及び脇机、書棚、６人掛け打合せテーブル、ワークテーブル、いす、衣類ロッカー、見本品棚、図面整理棚、予定表ホワイトボード、ホワイトボード、流し台、給茶設備、洗面設備、冷蔵庫、ゴミ箱、靴箱、壁掛け時計、温湿度計、消火器、雨かっぱ、防寒着（濃紺色）、キャップ（濃紺色）、ヘルメットホルダー、安全帯、安全靴、ゴム長靴、懐中電灯、事務用品人数分一式（筆記用具、定規、三角スケール、コンベックス、蛍光ペン、ホッチキス、穴あけパンチ、ハサミ、事務用ファイル）、検査に必要な器具

（ｃ）監理者事務所に必要な図書
各工事適用基準文書一式
監理者用設計図書：A1判2つ折製本　部、A3判2つ折製本　部

（ｄ）監理者事務所には、次のICT環境を備える
IT環境設備に要する費用は、機器セット、インストール、維持、運用費を含め 一切受注者の負担とする。
光回線等により、常時インターネット接続のできる環境とする。（単独引込）
Wifi環境（無線LANにてインターネット接続が可能な設備）
OA情報対応可能PC　人数分
CPU性能：Core i5 2.5GHz以上
RAM容量：8GB以上
HDD容量：1.0TB以上
ドライブ：DVD-スーパーmulti
ディスプレイ：液晶（19インチ以上）
OS：Windows 10 Pro 64bit版
アプリケーション：ウイルスチェックソフト、MS Word、MS Excel
MS PowerPoint、Adobe Acrobat
写真画像管理ソフト

CAD情報対応可能PC　1セット
CPU性能：Core i7 3.5GHz以上同等品
RAM容量：64GB以上
HDD容量：2TB以上
ドライブ：DVD-スーパーmulti
ディスプレイ：液晶（24インチワイド）
グラフィック性能：AutoDesk社公認グラフィックボード搭載
OS：Windows 10 Pro 64bit版
アプリケーション：ウイルスチェックソフト、MS Word、MS Excel
MS PowerPoint、Adobe Acrobat、AutoCAD
写真画像管理ソフト

その他

第２編　電気設備工事特記事項

１　電線類

(第2編 1.1.1)
(第6編 1.1.1)
[追加]

（ａ）電線種別
- ● 一般電線、一般ケーブル
- ○ ＥＭ電線、ＥＭケーブル（但し規格されてないものは除く）

(第2編 2.1.1)
[追加]

（ｂ）線名札
- ● 幹線（電力ケーブルおよび通信ケーブル）は、両端末部分、分岐部分、シャフト内に線名札を設け、幹線名称・ケーブル種別・経路・施工年・施工者を明記した表示を行う。表示の方法は耐候性に優れたものとする。

（ｃ）色区分
- ● 分電盤2次側のケーブルは、電源種別毎（一般、非常、保安）に色分けを行う。
- ● 接地線は用途毎に色分けを行う。

２　電線保護物類

(第2編 1.2.1 ～ 1.2.5)
(第6編 1.2.1 ～ 1.2.3)
[追加]

（ａ）金属管及び附属品
- ● 屋外及び床ピット等の配管は、厚鋼電線管（溶融亜鉛めっき）を使用する。

（ｂ）PF管及び附属品
- ● 躯体打ち込み配管のサイズは、最大（ＰＦ２２）までとする。

（ｃ）金属製可とう電線管及び附属品
- ● 電動機接続部分及びエキスパンション等に使用する。
また、水廻りや湿気がある場所はビニル被覆付とする。

（ｄ）プルボックス
屋内設置
● 鋼板製　○ ステンレス鋼板製　○ 合成樹脂製
床下、ピット内等湿気、水気の多い場所
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　● ステンレス鋼板製　○ 合成樹脂製
屋外設置
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　● ステンレス鋼板製　○ 合成樹脂製

（ｅ）金属ダクト
屋内設置
○ 鋼板製　○ 溶融亜鉛めっき鋼板製
屋外設置
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　○ ステンレス鋼板製

（ｆ）金属トラフ
屋内形
○ 鋼板製　○ 溶融亜鉛めっき鋼板製
屋外形
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　○ ステンレス鋼板製

（ｇ）ケーブルラック
屋内設置
○ メラミン樹脂焼付塗装　○ 溶融亜鉛めっき鋼板製
床下、ピット内等湿気、水気の多い場所
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　○ ステンレス鋼板製
屋外設置
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　○ ステンレス鋼板製
保護カバー
○ 屋外形は、屋根形としメンテナンス時にカバー上部に乗ることができるタイプとする。

（ｈ）防火区画等の貫通部に用いる材料
- ● 防火区画貫通処理は、国土交通大臣認定品を使用する。

３　配線器具

(第2編 1.3.1)
[追加]

（ａ）コンセント
- ● コンセントの渡り配線は、コンセントの送り端子は使用不可とし、配線接続によるものとする。
- ● OAフロア内のハーネス機器やブロックコンセントの台座、保護カバーも本工事とする。
- ● コンセントは、電源種別毎（一般：白　非常：赤　保安：茶　UPS：緑）に色分けを行う。
- ● コンセントプレートには、盤名称及び回路番号を表記する。表記場所は、コンセントプレート枠上部もしくはプレート下部とする。表示方法は透明地色に黒（一般系統）および赤（非常保安系統）とし、文字サイズは４㎜以上６㎜以下とし監理者にサンプルを提出し承認を受ける。

(第2編 2.2.7)
[追加]

（ｂ）ボックス類の用途表示
- ● ジャンクションボックス、プルボックス等には、用途表示を行う。

４　照明器具

(第2編 1.4.1)
～ 1.4.5)
[追加]

（ａ）構造一般
照明用ポール
- ● ＪＩＬ１００３「照明用ポール強度計算基準」を満足するものとする。

屋外灯基礎
- ● 基礎は本工事とし、標準図第２編「電力設備工事（電力62）」による。
- ● ＪＩＬ１００３「照明用ポール強度計算基準」を満足するものとする。

（ｂ）光源
ランプの予備品
- ● 現用数の５%、ランプ種別毎に最低１個（ＬＥＤ除く）を納入する。

（ｃ）システム天井
- ● システム天井のブランクパネル(指定色)は本工事とし、スピーカーや非常照明などの設置に伴う加工まで本工事とする。
- ● 間接照明やコーニス照明は、照度調整用に調光器具とし、位相制御調光器を天井内に設置する。

5　防災用照明器具

(第2編 1.5.1 ～ 1.5.4)
[追加]

（a）構造一般及び部品
● 予備電源別置型の非常用照明は、器具内の送り端子を使用する場合には配線と同様に耐熱階級を満足すること。
上記により難い場合は、分岐ボックスを設置し端末配線処理を行う。

（b）光源
ランプの予備品
● 現用数の５%、ランプ種別毎に最低１個（ＬＥＤ除く）を納入する。

6　分電盤、制御盤、開閉器箱、端子盤等

(第2編 1.8.1 ～ 1.12.7)
(第6編 1.4.4 ～ 1.4.7)
[追加]

（a）キャビネット
屋内設置
○ 鋼板製（ ● 指定色　　○ 標準色　）
床下、ピット内等湿気、水気の多い場所
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製　　○ ステンレス鋼板製

屋外設置
○ 一般仕様（ ● 指定色　　○ 標準色 ）
粉体塗装＋アクリル塗装　または電着塗装＋メラミン塗装以上
○ 耐塩仕様（ ● 指定色　　○ 標準色 ）
電着塗装　または亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装）
○ 重耐塩仕様（ ● 指定色　　○ 標準色 ）
亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装）
○ 溶融亜鉛めっき鋼板製
● ステンレス鋼板製

（b）導電部
● 幹線はすべて端子台受けとし、幹線表示を行う。
● 実験盤は分岐回路毎に、負荷接続端子台及び接地線を接続する端子台を設ける。

（c）機具類
● 単相３線式電路に設ける４００Ａ以下の配線用遮断器は、中性線欠相保護機能付とする。なお、過電圧検出リード線の接続点は盤内の中性極導体の末端に近い箇所とする。
● 電磁接触器は、図示なき場合瞬時励磁式とする。

7　外線材料

(第2編 1.19.1 ～ 1.19.7)

（a）マンホール、ハンドホール及び埋設標
マンホール、ハンドホール
○ 現場打ち　　● ブロック式
● 鉄ふた　　○ 化粧用鉄ふた　　● 逆流防止弁付
埋設標
● コンクリート製　　○ 鉄製　　● ハンドホール用埋設表示板

8　端子盤

(第6編 1.4.1 ～ 1.4.7)
[追加]

（a）端子類
○ 端子板は実装とし、仕様は下記とする。
電話用端子板（○G形）、拡声用（○D形）、インターホン（○D形）
その他（○B形　○D形　○E形　○F形　○G形 ）

（b）ＵＴＰパッチパネルの形式は下記とする。
○ ブロック形　　○ モジュラ形（○ ＰｏＥ機能無し　○ ＰｏＥ機能付）

[読替]

（c）通信用ＳＰＤ　※性能は共仕による
○ カテゴリＣ２　（盤内機器：建物内雷サージ対応）
○ カテゴリＤ１　（引込み口：直撃雷対応）

（d）施工
○ 端子盤には、該当箇所を明記した系統図を納入する。
○ 通信配線は、両端末にマークチューブにより配線アドレス表示を行う。
○ 情報通信用配線は、クローズ型19インチラックとパッチパネルを納品し、ケーブル試験まで本工事とする。
○ 中央管理室等に設ける総合盤は指定色とし、盤内に機器製作図（A4版）を収納できる棚を設ける。

9　改修工事

(改修　第1編 1.4.3)
[追加]

（a）再使用機材
取外し後、再使用する機材
○ 図示による
○　　○　　○　　○

(改修　第1編 1.5.2)
[追加]

（b）事前調査
施工に先立ち、下記の事前調査を行い、監理者に提出する。
● 各変圧器の最大負荷容量
○ 電灯コンセント回路、配線及び負荷容量
● 動力制御盤回路の配線及び負荷容量
○ 制御回路　　● 配線ルート
○ 地中埋設物　　○

[追加]

（c）養生
（１）養生の範囲
● 機材搬入及び撤去機材搬出経路　　● 昇降機　　● 既設機器
● 改修工事後も使用する建築物、設備、備品等　　○
● 監理者と協議による
（２）養成の方法
● ビニールシート、合板等　　○
○ 他保管場所へ移動（ ○ 既設機器　　○ 備品　　○　　）

[追加]

（d）撤去
（１）施工時間の指定
● 建築工事に準ずる（屋外工事）
● 監理者と協議による（屋内工事）
○ 休日　　○ 祭日　　○ 夜間（　　時から　　時まで）
○ 土曜日　　○ 指定時間（　　時から　　時まで）
（２）撤去前に内容物の回収を要する機器、配管等
○ 発電設備燃料（燃料タンク、油配管、燃料槽等）
○ 場外搬出適性処理　　○ 場内指定場所に保管
○
（３）撤去後の補修及び開口部等の補修
● 補修の必要な箇所は図示による
○
（４）穴開け及び補修
● 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けはダイヤモンドカッターによる
● 貫通場所、口径は図示による
○

[追加]

（e）基礎工事
機器用基礎
○ 新設　　○ 既設再利用
既設機器用基礎の補修
● モルタル補修　　○ コンクリート充填　　○ 防塵塗装仕上げ

(改修　第1編 2.2.3)
[追加]

（f）仮設間仕切り
○ 建築工事で設置　　○ 本工事で設置

（g）仮設間仕切りの種別
○ Ａ種（単管下地を組み、全面シート張りを行う）
○ Ｂ種（軽量鉄骨材料により支柱を組み、片面に厚さ９mmの合板張り又は、厚さ９．５mm石こうボード張りにて行う）
○ Ｃ種（軽量鉄骨材料により支柱を組み、両面に厚さ９mmの合板張り又は、厚さ９．５mm石こうボード張りを行い、内部にグラスウール等充填を行う）
（h）仮設間仕切りの仕上げ
○ 仮設間仕切りの片面塗装等の仕上げ（ ○ 要　　○ 不要 ）
（i）仮設扉の種類
○ アルミ製　　○ 鉄製　　○ 木製合板張り

第３編　その他特記補足事項

1　結露対策

結露の恐れがある部分に設置するボックスは、断熱カバーなどの結露対策を行う。
また、配管接続部はシリコン系コーキング材を充填し、空気の流通を抑える。

2　放射線防護措置

放射線使用室の壁に盤、ボックスなどを埋め込む場合、鉛入素材を用いる。
若しくは、その背面および側面に厚さ２㎜以上の鉛により防護措置を行う。

3　気密性能確保

洗浄度ISOクラス７以下のクリーンルームに設ける機器、ボックス、電線管等は汚染空気の流入を防ぐため、防塵パッキン及びシール材充填により気密性を確保する。

4　遮音性能確保

軽量間仕切り壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能にあわせて遮音シートや遮音カバーなどにより、遮音対策を行う。

5　指定色塗装

露出天井やメッシュ天井上部などに布設するケーブルやケーブルラックは指定色カバー取付けや指定色塗装を行う。
下記機器類は、指定色塗装とする。対象エリアは図示による。

○ 各種プレート	○ 照明器具	○ 非常照明
○ 誘導灯	○ スピーカプレート	○ 監視カメラ
○ 映像音響機器	○ 自動火災報知感知器	○
○	○	○

6　製造者名

納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。

7　ウィスカ対策

電算関連室に設置する材料や機器は、ウィスカ対策が施された材質のものとする。

8　ＯＡフロアマーカー

ＯＡフロア内に収納している電源接続部や通信接続部をOAフロア床材表面にて認識出来るようにＯＡフロアマーカー等にて表示する。

9　点検口

各点検口の裏面には、点検対象物の機器種類・番号などを記載する。

10　保守工具等

保守工具とし、ペンチ、ドライバー、ニッパー、電工ナイフ
絶縁抵抗計（500V、1000V）、テスター、検電器、工具箱を納入する。

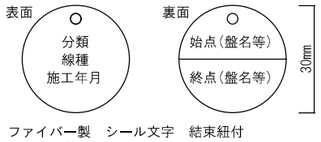
11　その他

ハンドホール
（１）特記なき以外はブロック型埋設表示板付とし、配管取付加工（ベルマウス、止水スリーブ等）を工場で行うこと。
（２）ハンドホール内ではケーブルに余長を設けること。
（３）蓋の表示は下記のとおりとする。
「 電 」……一般電気設備　　「高圧」……高圧電力用設備
「電気」……電力用設備　　「弱電」……通信、電話用等

接地
接地埋設標はステンレス製とし、文字、数値は刻印とする。

ケーブルマーク
特記なき以外は下記によるものとし、詳細は監督員の指示による。
（１）プラスチック製　彫刻文字　ビニール被覆結束紐付
盤、プルボックス、ハンドホール内およびケーブルの防火区画貫通部の前後、ケーブルラック上のケーブル３０m以下毎に取付けること。
表面に分類（電灯幹線等）と線種および施工年月、裏面に始点と終点（盤名等）を記すこと。
用途別のケーブルマークの色別は下記のとおりとする。

分　類	地　色	文字色
高　圧	赤	黒
電　灯	白	黒
動　力	青	白
弱　電	黄	黒
火　報	橙	黒



（２）ファイバー製　シール文字　結束紐付
電灯分電盤の各回路に取付けること。
地色は白、文字色は黒、表面に回路番号と負荷名称、裏面に線種を記すこと。

第４編　指定メーカーリスト

本工事で使用する材料の指定メーカーは下記とする。

高圧区分開閉器
エナジーサポート　三英社製作所　戸上電機製作所　東光高岳

配線用遮断器
富士電機機器制御　寺崎電気産業　東芝　日幸電機製作所
パナソニック　三菱電機

制御盤，分電盤及び端子盤
東和電機工業　かわでん　古川電気工業　ワイム

電熱装置
インターセントラル　北日本電線　古河電工　ミサト　三菱電線工業

照明器具
パナソニック　遠藤照明　コイズミ照明　東芝ライテック
日本電気　　三菱電機照明

拡声装置
ＪＶＣケンウッド　ＴＯＡ　パナソニック

監視カメラ装置
ＪＶＣケンウッド　ＴＯＡ　東芝　パナソニック　日立国際電気　三菱電機

火災報知装置
能美防災　　ニッタン　日本ドライケミカル　ホーチキ

追記	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院　立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基廷 深井 憲治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名 電気設備工事特記仕様書 No.3	縮尺 A1= ---- A3= ---- 図面番号 E-03
			担当 下田 健也、谷口 智子				

盤名称 (形式) 電気方式 幹線番号	主開閉器 (幹線) 合計容量	回路番号	記号	負荷名称	負荷容量 (VA)	リモコン番号	備考
PB1L-1		ア	M2	1階消火栓ランプ電源	20		
(一般) 種耐熱		イ	M2	2階消火栓ランプ電源	20		
埋込 (露出)		ウ	M2	R階消火栓ランプ電源	20		
自立 (壁掛)		エ	M2	自火報受信機	300		
(扉付) 扉なし				小計	(360)		
屋内 (屋外)							
(SUS製)		1	M4	車路管制機器電源	6,000		
				小計	(6,000)		
		①	M2	階段灯・ELVホール非常灯	139		
L101		②	TAE	1階駐車場 L	839		
1φ3W		③	TAE	1階東側車路・スロープ L	371		
100V/200V	MCB3P	④	TAE	2階駐車場・PHELVホール L	866		
	100AF/100AT	⑤	M2	渡り廊下 L	83		
		⑥	TAE	R階外灯・庇・車路外灯 L	755		
		⑦	E1	予備	-,---		
<塗装>		⑧	E1	予備	-,---		
○ 標準色				小計	(3,053)		
● 指定色							
○ その他(耐塩)							
<上部ダクト>							
● 無		C1	E1	1階 南側 C	380		
○ 有(CH=----)		C2	E1	1階 北側 C	200		
<基礎>		C3	E1	2階 南側・PH・渡り廊下 C	520		
○ 建築工事		C4	E1	2階 北側 C	200		
○ 本工事		C5	M2	ELV制御盤	1,000		
(W---XD---XH---)		C6	E1	監視カメラ電源	600		
		C7	E1	予備	-,---		
		C8	E1	予備	-,---		
				小計	(2,900)		
		H1	E1	排水路ヒーター 北側	2,920		
		H2	E1	排水路ヒーター 南側	2,400		
		H3	E1	予備	-,---		
		H4	E1	予備	-,---		
				小計	(5,320)		
計 17,633VA							

盤名称 (形式) 電気方式 幹線番号	主開閉器 (幹線) 合計容量	回路番号	記号	負荷名称	負荷容量 (VA)	リモコン番号	備考

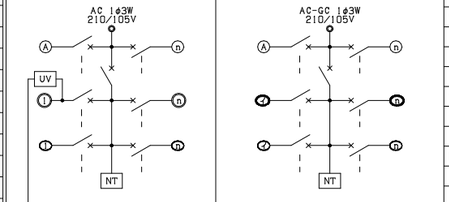
盤名称 (形式) 電気方式 幹線番号	主開閉器 (幹線) 合計容量	回路番号	記号	負荷名称	負荷容量 (VA)	リモコン番号	備考

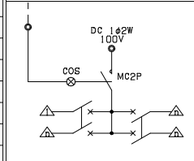
配線用遮断器・スイッチ・コンセントの定格	
名称	許容負荷電流
遮断機	遮断機の定格電流 X 0.8
遮断機(FCU)	遮断機の定格電流 X 0.5
遮断機(OA用電源)	遮断機の定格電流 X 0.7
スイッチ	スイッチの定格電流 X 0.6
コンセント	コンセントの定格電流 X 0.7

回路番号	AC 100V	AC 200V	AC-GC 100V	AC-GC 200V	DC 100V
照明	①	①	✓	✓	⚠
コンセント	1	1	✓	✓	
防災 (一次側)	Ⓐ				

回路	記号	分岐開閉器	回路図	備考
一般回路	M1	MCCB 1P 50AF 20AT		
	M2	MCCB 2P 50AF 20AT		
	M3	MCCB 2P 50AF 30AT		
	M4	MCCB 3P 50AF 50AT	負荷	
	E1	ELCB 2P 50AF 20AT		
	E2	ELCB 2P 50AF 30AT		
	E3	ELCB P AF AT		
一般回路 (安全ブレーカー)	H1	HB 2P 1E 20A	負荷	
	H2	HB 2P 2E 20A		
	HE1	HELB 2P 1E 20A		
	HE2	HELB 2P 2E 20A		
リモコン回路	RM1	MCCB 1P 50AF 20AT	Ry 負荷	
	RM2	MCCB 2P 50AF 20AT	Ry 負荷	
	RME	ELCB 2P 50AF 20AT		
リモコンブレーカー	RB1	RMCB 1P 50AF 20AT	RB 負荷	
	RB2	RELB 2P 50AF 20AT		
	RBE	RELB 2P 50AF 20AT		
タイマー	TA2	MCCB 2P 50AF 20AT	COS T MC 負荷 MC 負荷	24H ソーラータイマー (2接点)
	TAE	ELCB 2P 50AF 20AT		
リモコンリレー +タイマー	TR2	MCCB 2P 50AF 20AT	COS R TU T Ry 負荷 Ry 負荷	24H ソーラータイマー (2接点)
	TRE	ELCB 2P 50AF 20AT		
遠方操作回路	D2	MCCB 2P 50AF 20AT	COS MC 負荷	
	DE	ELCB 2P 50AF 20AT		

盤結線図





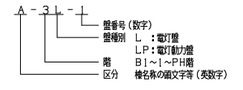
弱電機器容量 (VA)

火報受信機	300
遠制制御機	300
アンプ	Wo×3
電話主装置	500
PBX 70回線	1000
PBX 100回線	1300
PBX 200回線	2000
電気時計	150
テレビブースター	100
ELV管制盤	1000
防犯盤	500
エアータオル	1600
ウォシュレット	1200
自販機	1000
リモコンTr	50

照明負荷容量 (VA)

FL 40W X 1	51	FDL 13W X 1	30	FPL 36W X 1	40
FL 40W X 2	90	FDL 18W X 1	37	FPL 36W X 2	76
FL110W X 1	125	FDL 27W X 1	61	FPL 55W X 1	57
FL110W X 2	240	FHT 16W X 1	19	FPL 55W X 2	112
Hf 16W X 2	41/ 52	FHT 24W X 1	26	FCL 30W X 1	70
Hf 32W X 1	38/ 54	FHT 32W X 1	34	FCL 40W X 1	100
Hf 32W X 2	73/106	FML 13W X 1	17	HID(高力率)	W×1.5
Hf 50W X 1	58/ 73	FML 18W X 1	22	コンセント	100/150
Hf 50W X 2	114/144	FML 27W X 1	32	換気扇・FCU	W=VA
				FL20W以下	W×1.5

盤名称



注記

フル2線リモコンは、TU・リモコンTr・伝送ユニットを必要数見込むこと。

ワイヤレスアドレス設定器を予備品として納入すること。

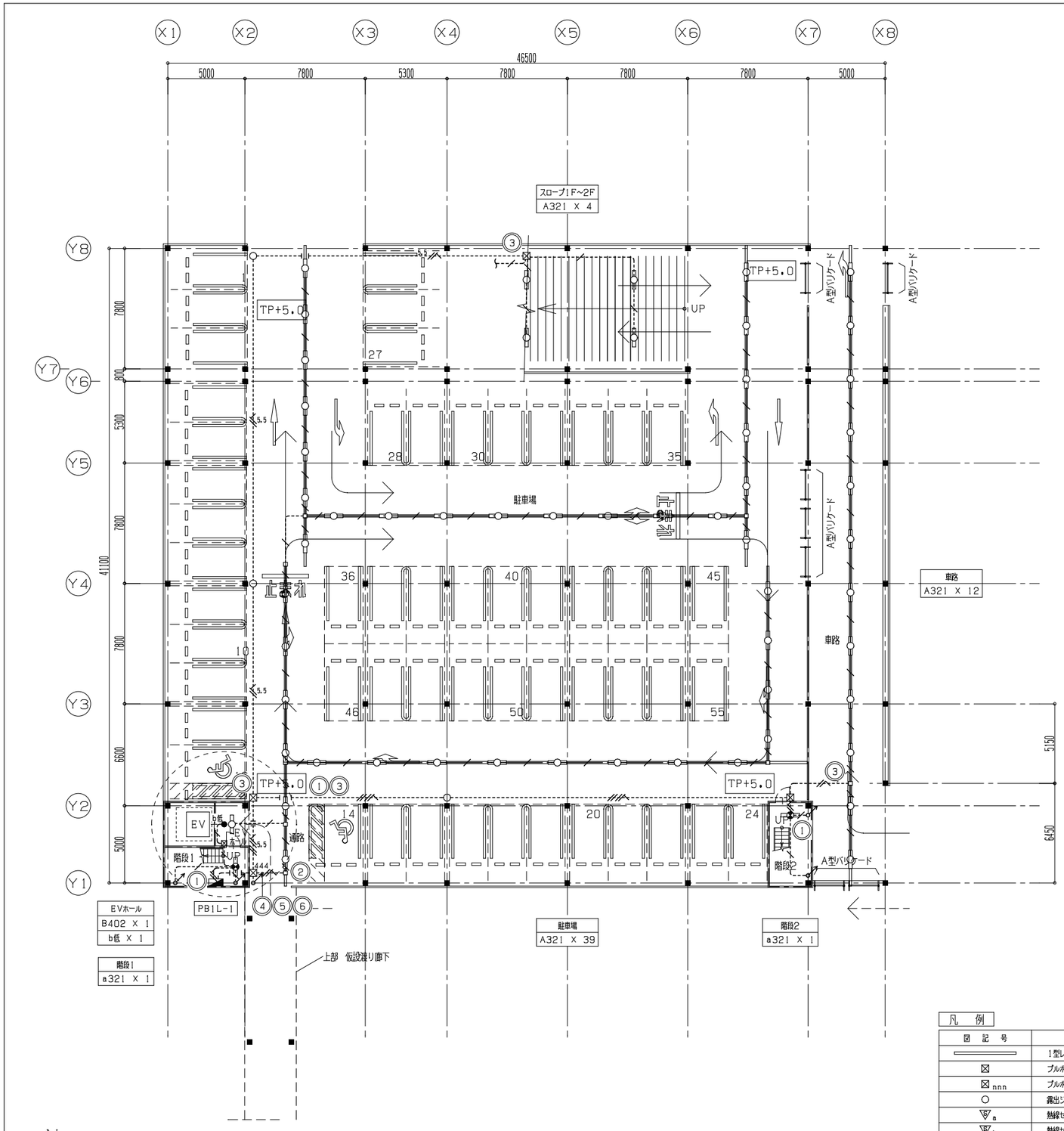
適記	訂正	MR・ML
		MR・ML
		MR・ML
		MR・ML
		MR・ML

久米・村田設計共同企業体

KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 | 有限会社村田弘建築設計事務所

日付	平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所
PA	小倉 基延 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	
担当	川上 賢史、玄島 雄太		一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太
	二木 重一、石井 康平		

件名	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	設計番号	0180038
図面名	立体駐車場:電灯盤結線図	縮尺	A1= 1/non A3= 1/non
		図面番号	E-04



凡 例

図 記 号	名 称	仕 様	備 考
	1型レースウェイ	溶融亜鉛メッキ鋼板 40X30	
⊠	プルボックス	WP：溶融亜鉛メッキ防水型 200□X100	
⊠ nnn	プルボックス	WP：溶融亜鉛メッキ防水型	n：サイスは図示
○	露出ジョイントボックス	溶融亜鉛メッキ	
S a	熱線センサー付自動スイッチ	親機	
S b	熱線センサー付自動スイッチ	子機	

凡 例

図 記 号	内 訳	保 護 管	備 考
	CV 5.5°-2CX6 E2.0(G36Zn)	G36Zn	露出配管配線
5.5	CV 5.5°-3C+2C (G36Zn)	G36Zn	露出配管配線
5.5	CV 5.5°-3C (G22Zn)	G22Zn	露出配管配線
	VVF 2.0-3C (G22Zn)	G22Zn	露出配管配線
	VVF 1.6-3C (G22Zn)	G22Zn	露出配管配線
	VVF 1.6-3C		レースウェイ内配線
	VVF 2.0-3C	PF-S22	ころがし配線
	VVF 1.6-3C	PF-S22	ころがし配線
	VVF 1.6-3C	PF-S22	ころがし配線
	VVF 1.6-2C	PF-S16	ころがし配線

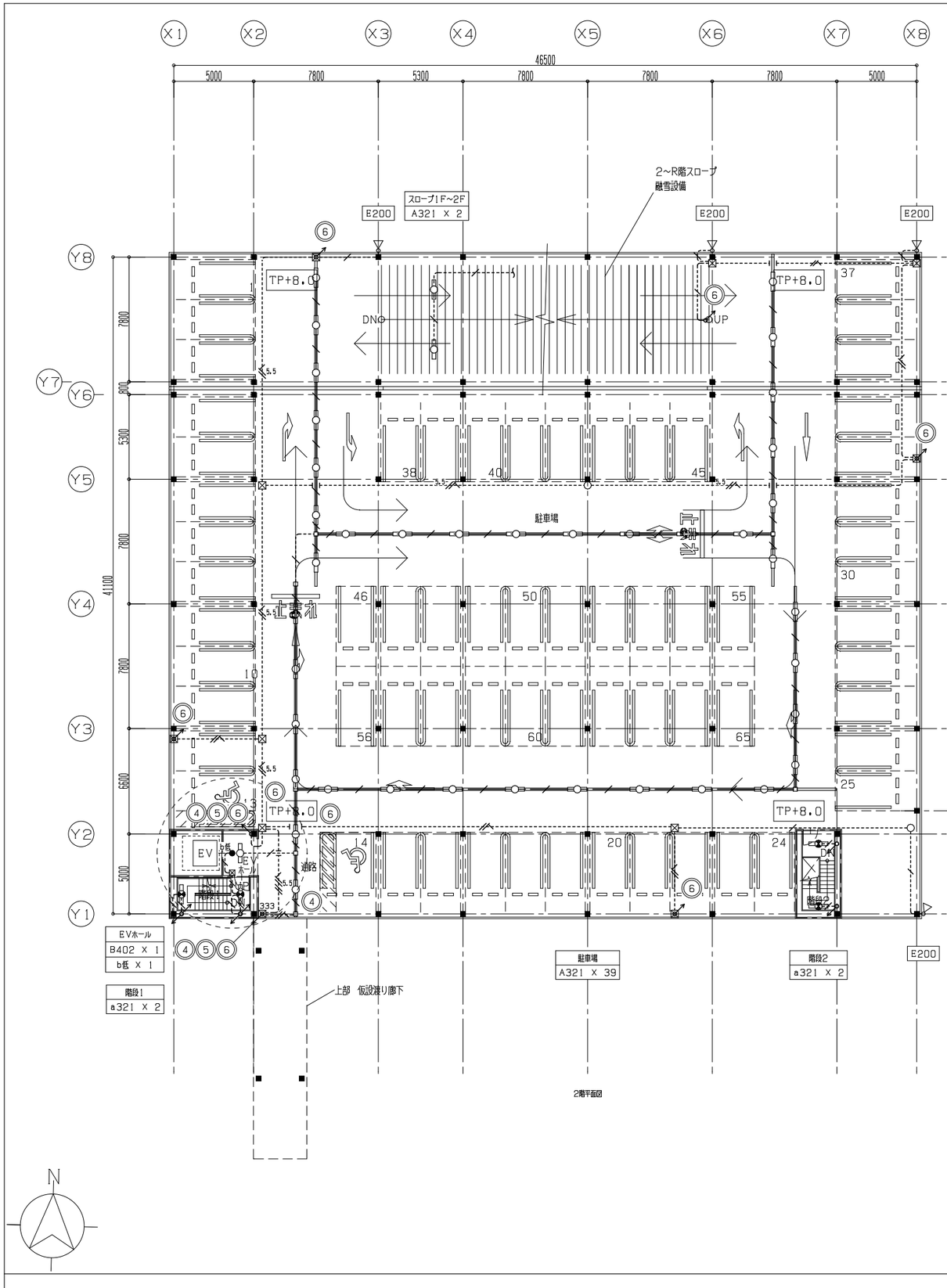
※ケーブル配線において壁の立上げ立下げ部分は保護管にて保護すること。

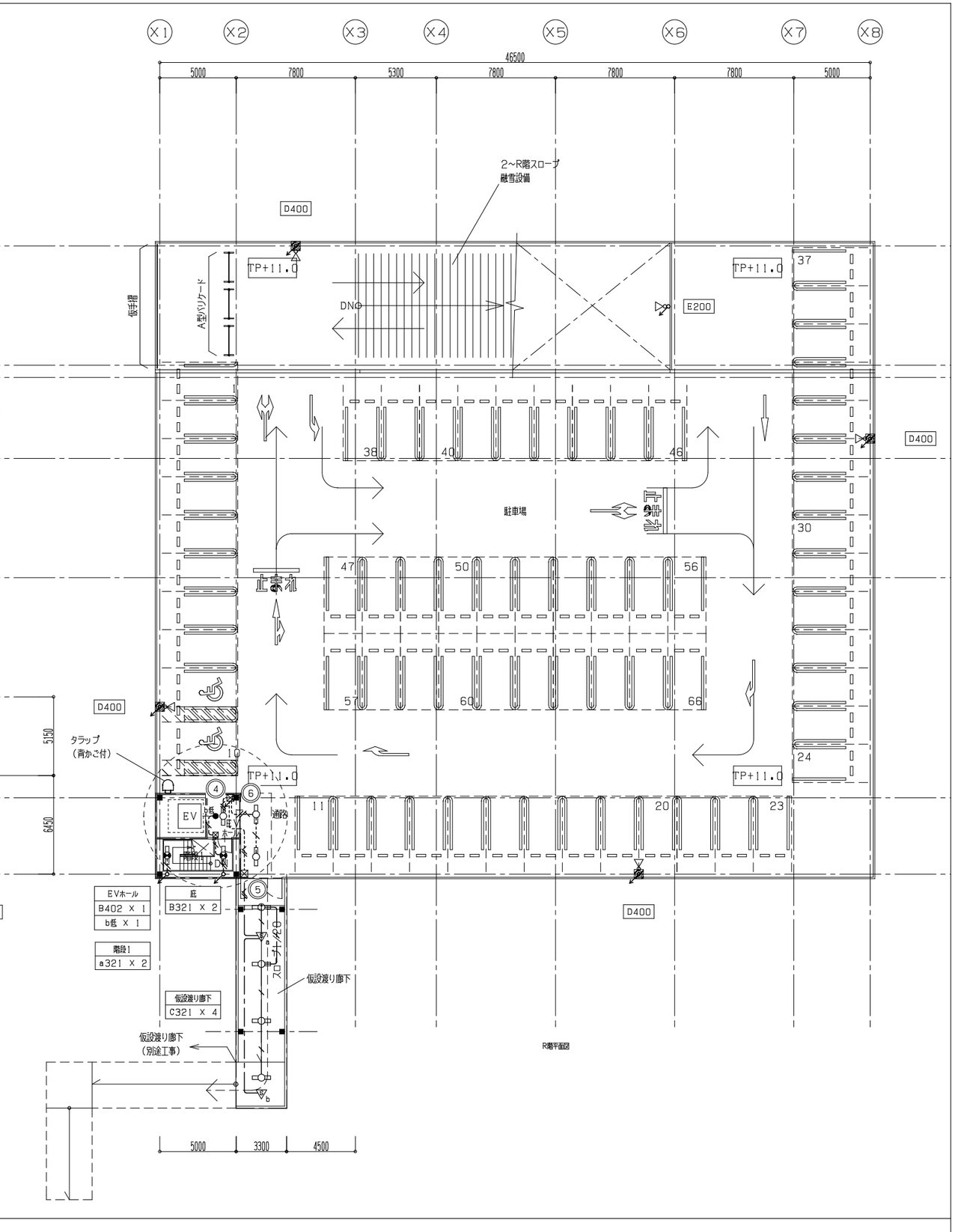
※防火区画及び防火上主要間仕切り貫通部は国土交通大臣認定工法により防火処理を施すこと。

適記	訂正 MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 検図 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：電灯設備 1階平面図 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300

設計番号 0180038

図面番号 E-05



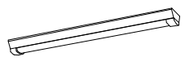


適記	訂正 MR・ML / MR・ML / MR・ML / MR・ML / MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：電灯設備 2・R階平面図	設計番号 0180038 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300 図面番号 E-06

A	LEDベースライト　反射笠付型　防湿・防雨型
A321	LED 20.6W 2,980lm

パナソニック　直付XLW433KENZLE9　相当品

B	LEDベースライト　直付　防湿・防雨型
B402	LED 26.7W 3,830lm
B321	LED 20.6W 3,040lm



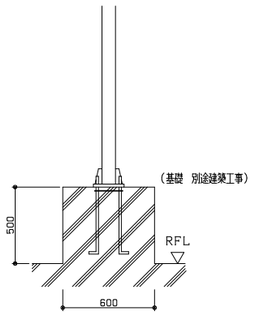
パナソニック　直付XLW443AENZLE9　相当品
パナソニック　直付XLW433AENZLE9　相当品

C	LEDベースライト　直付
C321	LED 20.6W 3,200lm

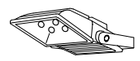
パナソニック　直付XLX430AENZLE9　相当品

D	LEDスポットライト　水銀灯400形相当
D400	LED 98.3W 10,700lm
	アダプタ・3Mポール（全長加工）・アンカーフレーム共
	アンカーフレーム用根巻基礎600□X500程度（別途建築工事）

パナソニック　NNY24934LE9　相当品
パナソニック　NNY28923　相当品
パナソニック　NNY28907（全長加工）　相当品
パナソニック　YD9915　相当品



E	LEDスポットライト　水銀灯200形相当
E200	LED 63.9W 5,600lm
	1灯用投光器台共



パナソニック　NNY24914LE9　相当品
パナソニック　XE11BZ　相当品

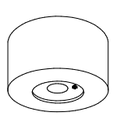
a	LED階段灯
a321	LED 22.6W 3,070lm　認定番号3AE-1067
	（ひとセンサ段調光）

（電池内臓・リモコン点検機能付）

パナソニック　直付XLF433NTNLE9　相当品

b	LED非常照明　直付・防湿型
b低	LED 1.0W （低天井用）非常灯評定LALE-007

（電池内臓・リモコン点検機能付）



パナソニック　NNFB91105J　相当品

		b低		
器具取付高さ		2.4m	2.5m	3.0m
単体配置	A1	4.5	4.6	4.7
直線配置	A2	10.3	10.6	11.9
四角配置	A4	8.2	8.5	9.7

※非常・誘導灯用点検用リモコン1台納品のこと。

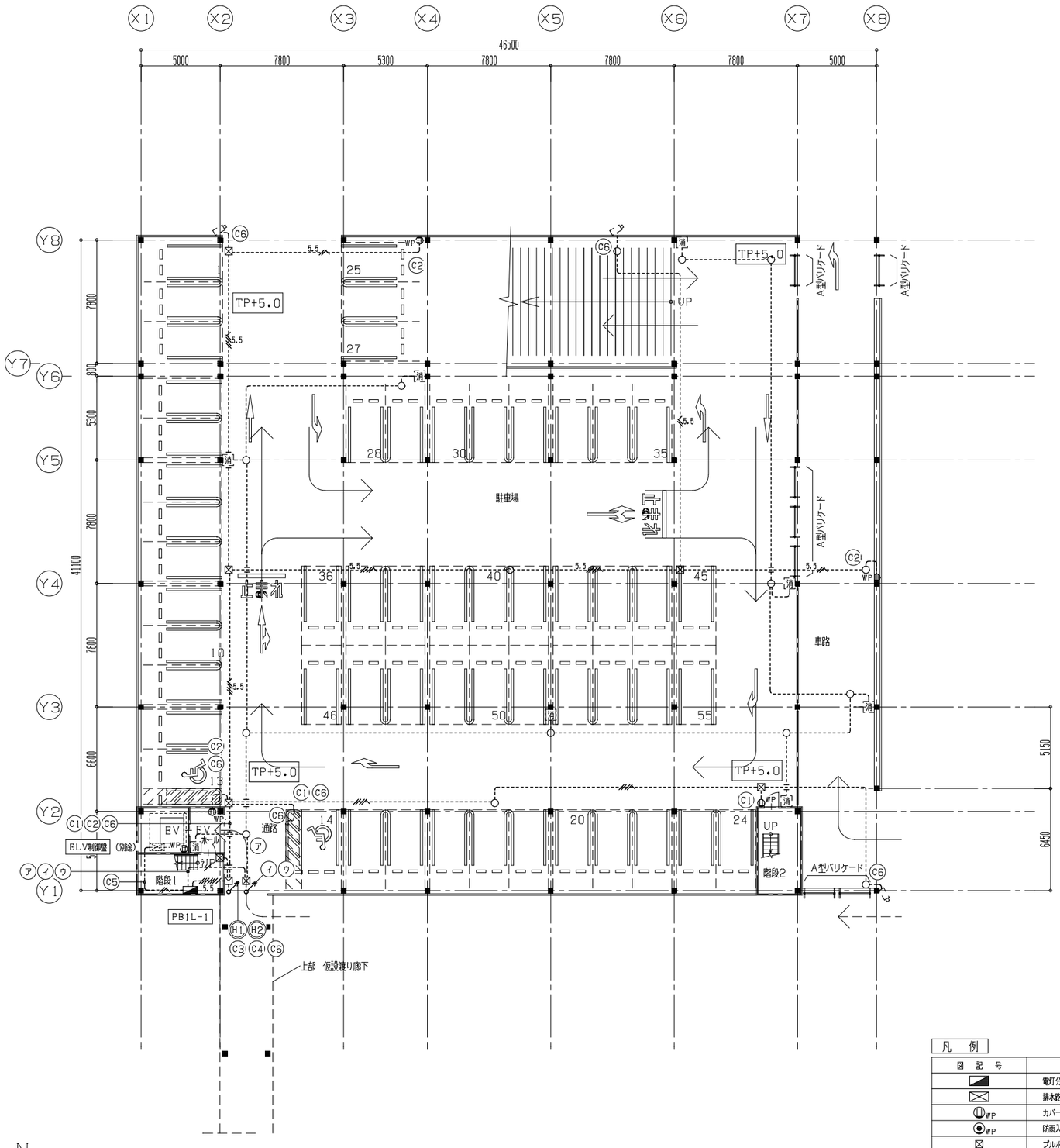
適記	訂正	MR・ML
		MR・ML
		MR・ML
		MR・ML
		MR・ML

久米・村田設計共同企業体

KUME SEKKEI　株式会社 久米設計　|　有限会社村田弘建築設計事務所

日付	平成30年12月14日	株式会社　久米設計	有限会社　村田弘建築設計事務所
PA	小倉　基延 協図 高橋　創	一級建築士　登録番号　266585号　高橋　創	一級建築士　登録番号　320305号　村田　良太
担当	川上　賢史、玄島　雄太		
	二木　重一、石井　康平		

件名	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	設計番号	0180038
図面名	立体駐車場：照明器具姿図	縮尺	A1＝　1/non A3＝　1/non
		図面番号	E-07



凡 例

図 記 号	名 称	仕 様	備 考
	電灯分電盤	SUS・WP	
	排水路ヒーターボックス	SUS・WP 150WX250HX120D	S012-1525SA相当品
WP	カバー付接地防水コンセント	2P15AX2 EET付(簡易鍵付)	WK4702相当品
WP	防雨入線カバー		
	プルボックス	WP:溶融亜鉛メッキ防水型 200□X100	
nnnWP	プルボックス	WP:溶融亜鉛メッキ防水型	n:サイズは図示
	露出ジョイントボックス	溶融亜鉛メッキ	
消	移動式粉末消火器(ランプ)		
	監視カメラ		別図参照

凡 例

図 記 号	内 訳	保護管	備 考
----------	VVF 2.0-3C (G22Zn)	G22Zn	露出直管配線
----//----	VVF 2.0-3C+2C (G22Zn)	G22Zn	露出直管配線
----T----	VVF 2.0-3C+2CX2 (G28Zn)	G28Zn	露出直管配線
---5.5---	CV 5.5°-3C (G22Zn)	G22Zn	露出直管配線
---5.5-//-	CV 5.5°-2CX2 E2.0 (G36Zn)	G36Zn	露出直管配線
---5.5-//-	CV 5.5°-2CX4 E2.0 (G42Zn)	G42Zn	露出直管配線
---5.5-//-	CV 5.5°-2CX5 E2.0 (G54Zn)	G54Zn	露出直管配線
---5.5-//-	CV 5.5°-2CX6 E2.0 (G54Zn)	G54Zn	露出直管配線
---5.5-//-	CV 5.5°-2CX7 E2.0 (G70Zn)	G70Zn	露出直管配線

※ケーブル配線において壁の立上げ立下げ部分は保護管にて保護すること。

※防火区画及び防火上主要間仕切り貫通部は国土交通大臣認定工法により防火処理を施すこと。

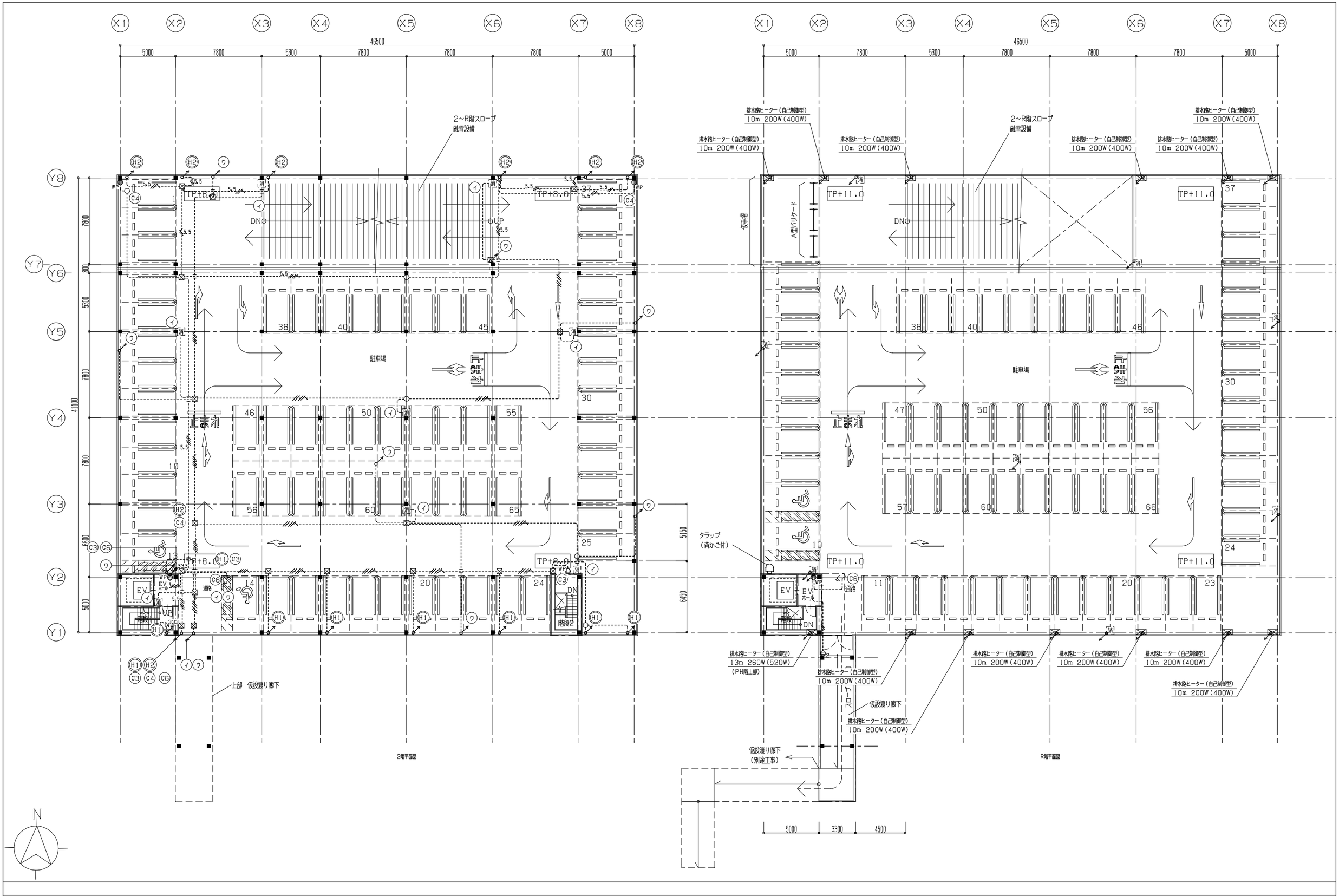
適記	訂正	MR・ML
		MR・ML
		MR・ML
		MR・ML
		MR・ML

久米・村田設計共同企業体

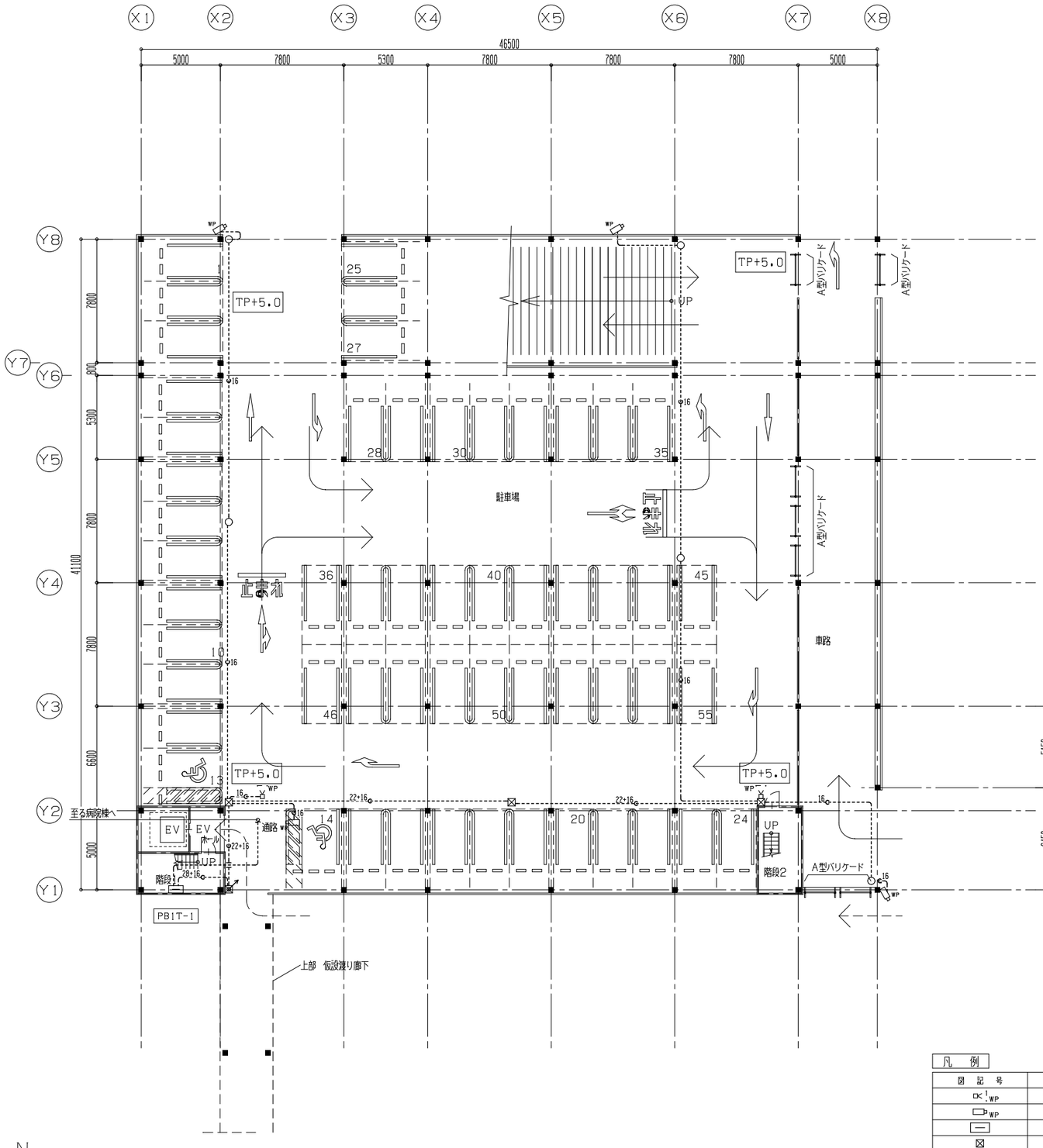
KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 | 有限会社村田弘建築設計事務所

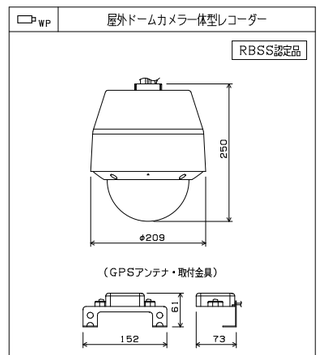
日付	平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所
PA	小倉 基延 検図 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太
担当	川上 賢史、玄島 雄太		
	二木 重一、石井 康平		

件名	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	設計番号	0180038
図面名	立体駐車場:コンセント設備 1階平面図	縮尺	A1= 1/150 A3= 1/300
		図面番号	E-08



適記	訂正 MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 構図 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：コンセント設備 2・R階平面図	設計番号 0180038 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300 図面番号 E-09





電源	AC100 V 50/60 Hz
記録メディア	SATA 250 GB SSD, SDXCカード
撮像素子	1/2.8型CMOS 214万画素
走査方式	プログレッシブ
録画レート	最大15 fps（1週間以上の録画が可）
画像圧縮方式	H.264
画像サイズ	最大1080p（1920×1080）
最低被写体照度	0.0017 lx（50 %、白黒等、換算値）
ネットワークI/F	無線LAN IEEE802.11n
カメラ機能	デジタルノイズリダクション、デイナイト、
	プライバシーマスク（20箇所）、逆光補正、
	3倍電動バリフォーカルレンズ、
	オートフォーカス、いたずら検知
その他	暗号化：WPA2-PSK（AES）
	状態表示LED、防塵防水：IP66、
	内蔵時計自動補正（GPS信号）、
	無線LANでPCからの設定・調整やPC
	への録画データダウンロード可

端子盤収容表

端子盤名	情報	放送	予備
BP1T-1 （壁掛　屋外防水仕様　SUS製）	8ポートHUBスペース 露出コンセント×1	10P	10P

凡　例

図　記　号	名　　称	仕　　様	備　考
WP	ワイドホーンスピーカー	15W（防滴型）	将来用
WP	監視カメラ	内蔵SDカード記録式（防滴型）	100V電源
	端子盤	SUS・WP	
	プルボックス	WP・溶融亜鉛メッキ防水型　200□×100	
	露出ジョイントボックス	溶融亜鉛メッキ	

凡　例

図　記　号	内　　訳	保　護　管	備　考
----16----	G16Zn		呼称線共
----16×2----	G16Zn × 2		呼称線共
----22+16----	G22Zn + G16Zn		呼称線共
----28+16----	G22Zn + G16Zn		呼称線共

※ケーブル配線において壁の立上げ立下げ部分は保護管にて保護すること。

※防火区画及び防火上主要間仕切り貫通部は国土交通大臣認定工法により防火処理を施すこと。

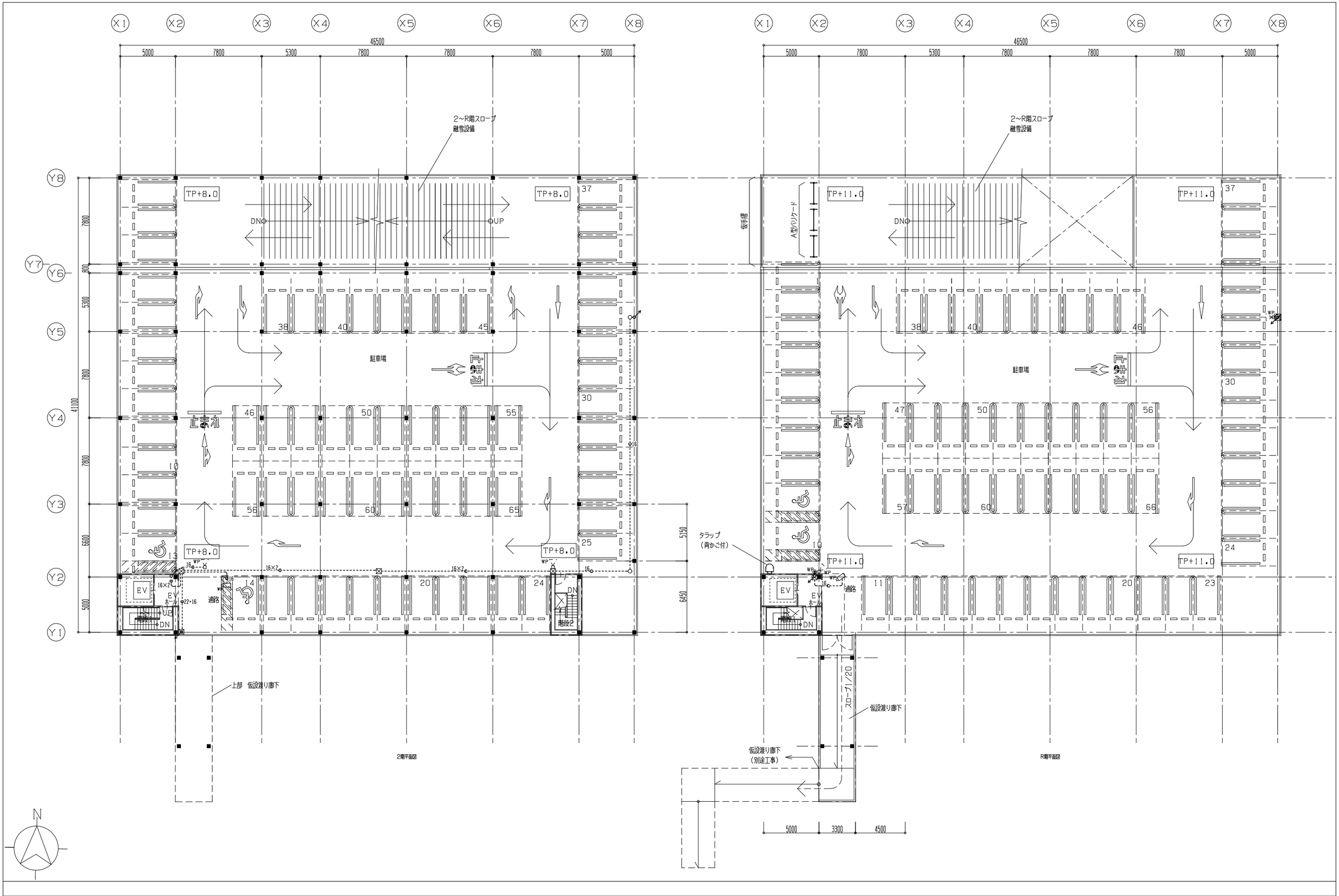
適記	訂正	MR ・ ML
		MR ・ ML
		MR ・ ML
		MR ・ ML
		MR ・ ML

久米・村田設計共同企業体

KUME SEKKEI 株式会社 久米設計　有限会社村田弘建築設計事務所

日付	平成30年12月14日	株式会社　久米設計	有限会社　村田弘建築設計事務所
PA	小倉　基延　高橋　創	一級建築士　登録番号　266585号　高橋　創	一級建築士　登録番号　320305号　村田　良太
担当	川上　賢史、玄島　雄太		
	二木　重一、石井　康平		

件名	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	設計番号	0180038
図面名	立体駐車場：弱電設備　1階平面図	縮尺	A1= 1/150 A3= 1/300
		図面番号	E-10



適記	訂正 MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 ／ 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：弱電設備 2・R階平面図	設計番号 0180038 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300 図面番号 E-11

凡例		
記号	名称	備考
	複合盤	仕様注記参照
ELV	エレベータ制御盤	（ELV工事）
	機器収容箱	露出，防雨縦型　Ⓟ Ⓑ 収容
Ⓟ	P型発信機	1級，リング型表示灯（AC24V，LED）付，屋外型
Ⓑ	火災警報ベル	DC24V，10mA，防雨型
Ω	終端抵抗	10KΩ
S	光電式スポット型感知器（露出型）	2種，非蓄積型
S	光電式スポット型感知器（露出型）	2種，非蓄積型，小屋裏用
S	光電式スポット型感知器	2種，非蓄積型，点検BOX付
W	差動式スポット型感知器	2種，防水型
No	警戒区域番号	火災表示用
階段 No	警戒区域番号	火災表示用，階段用
ELV No	警戒区域番号	火災表示用，ELV用
—·—	警戒区域線	
NO	動作区域番号	専用感知器連動用
NO	動作区域番号	防火戸，防火シャッタ用
T	定温式スポット型感知器	特種，65℃，防水型，連動用
S	光電式スポット型感知器	3種，非蓄積型
BD	自動閉鎖装置	DC24V 0.05A，防火戸用
—— - -	ケーブル配線	天井いんぺい
———	配管配線	いんぺい
---------	配管配線	露出
	配管配線立上げ引下げ	
□ ⊠	ジャンクション，プルボックス	
消	移動式粉末消火器	SUS製BOX

注記

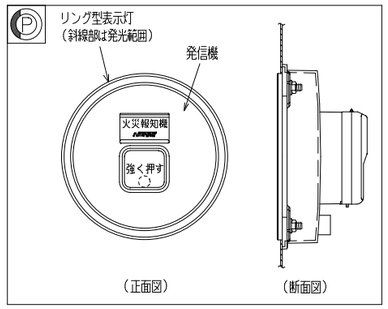
1．複合盤仕様
1）P型1級、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵
蓄積式、自動断線警報機能付、屋外SUS製
2）操作無効機能付
3）カラーユニバーサルデザイン対応
4）履歴リスト機能（1，000件）
5）表示内訳
・火災表示　15L
・防火戸、シャッタ閉鎖表示　3L
+2L（予備）=20L
6）専用感知器回線数　3L
7）諸表示部（3L標準装備）
8）移報信号内訳：
・エレベータ制御盤へ火災代表信号移報（無電圧、a接点、1L）
・病院棟火災受信機へ火災代表信号移報（無電圧、a接点、1L）

2．感知器はすべて確認灯付とする。

3．地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。

4．防火防排煙制御方式
防火戸は、専用感知器連動とする。

5．リング型表示灯付発信機の参考外観図は下記とする。

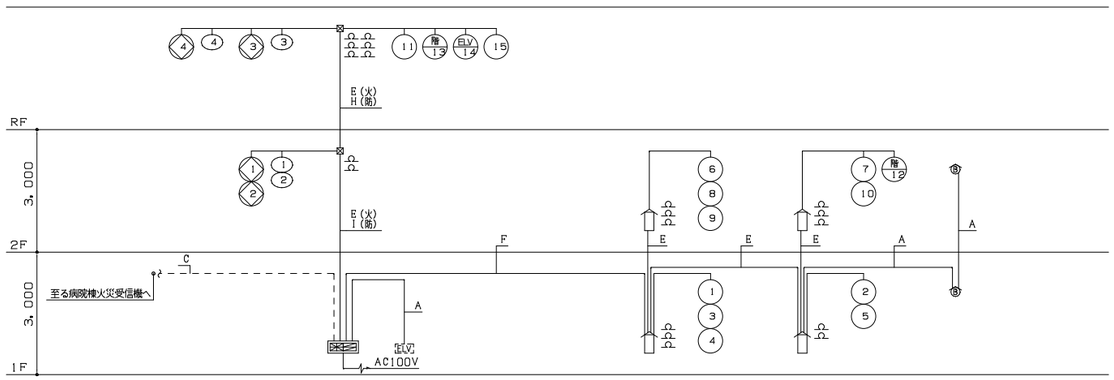


（正面図）　（断面図）

6．特記なき配管配線は下記による。
-----//----- AE 0.9- 2C(G16Zn)
---------- AE 0.9- 4C(G16Zn)
---HP//----- HP 0.9- 2C(G16Zn)
BD---------- HP 1.2- 3C(G16Zn)
-----//----- VVF 2.0-3C(G22Zn)

AE；警報用マテリアルケーブル
HP；耐熱マテリアルケーブル

※2重天井部分はケーブルころがし配線、直天井部分は露出配管配線とする。



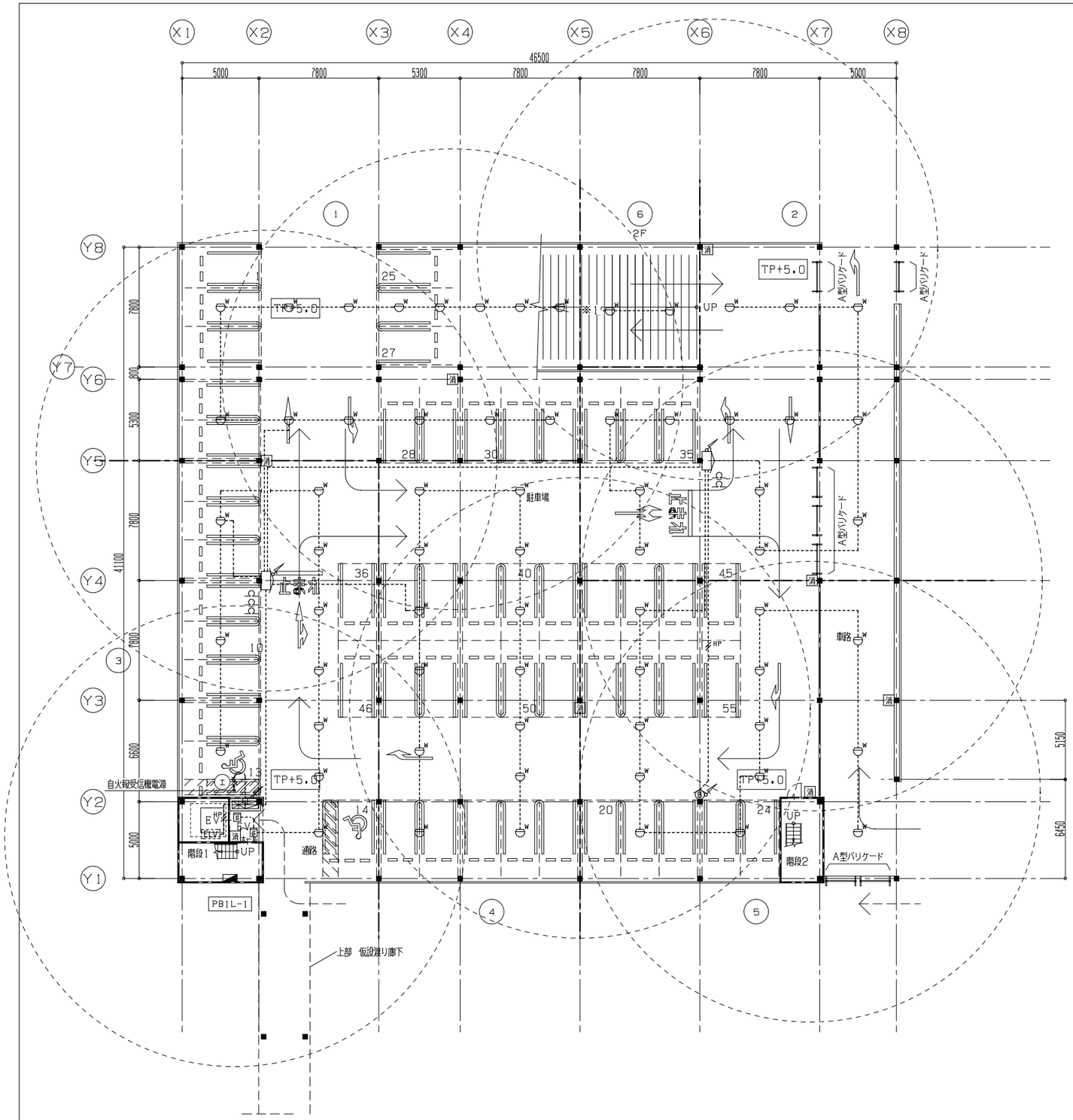
設備系統図

配管配線内訳表

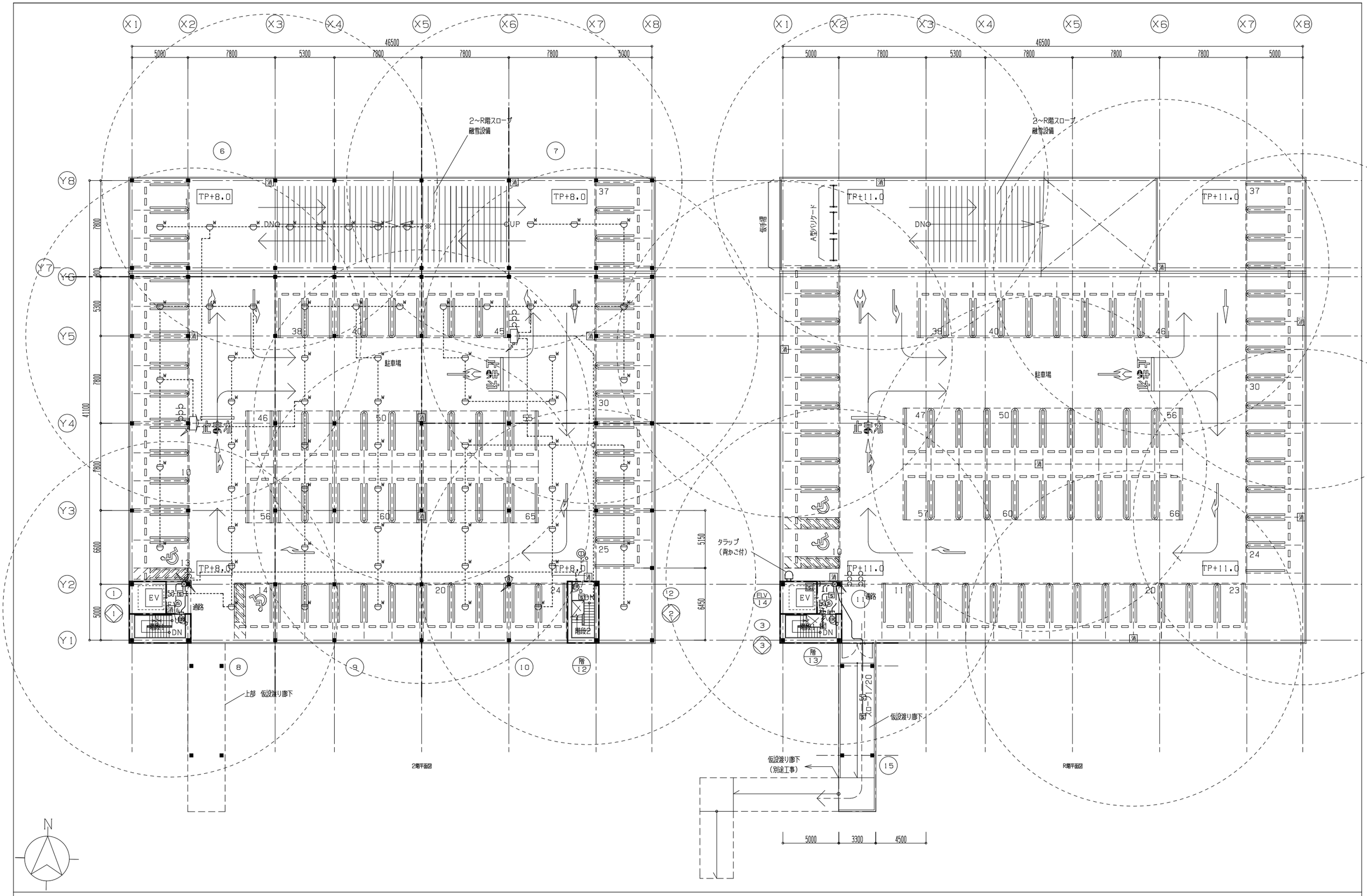
記号	配管配線内訳
A	HP0.9- 2C(G16Zn)
B	HP0.9- 4C(G16Zn)
C	HP0.9- 3P(G16Zn)
D	HP0.9- 5P(G22Zn)
E	HP0.9-10P(G28Zn)
F	HP0.9-15P(G28Zn)
G	HP1.2- 3P(G22Zn)
H	HP1.2- 5P(G22Zn)
I	HP1.2-10P(G28Zn)

・2重天井内の配線はケーブルころがしとする。
・（火）－火災
・（防）－防排煙

追記	訂正 MR・ML	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
	MR・ML	KUME SEKKEI 株式会社 久米設計	PA 小倉 基延 検図 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名 立体駐車場：自動火災報知設備 凡例・注記・系統図	縮尺 A1= 1/non A3= 1/non
	MR・ML	有限会社村田弘建築設計事務所	担当 川上 賢史、玄島 雄太				図面番号 E-12
	MR・ML		二木 重一、石井 康平				



適記	証 MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 ／ 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：自動火災報知設備 1階平面図 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300	設計番号 0180038 図面番号 E-13



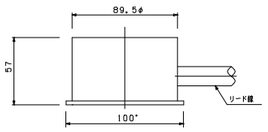
適記	訂正 MR・ML / MR・ML / MR・ML / MR・ML / MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 ／ 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：自動火災報知設備 2・R階平面図	設計番号 0180038 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300 図面番号 E-14

強力型発熱線断面構造図 （参考）

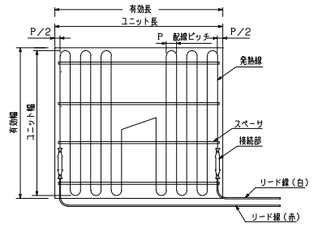
JISC3651 附属書第四種発熱線

路面温度センサ （参考）

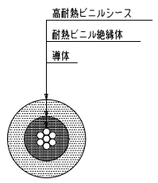
白金測温抵抗体	JIS 0.5級 100Ω 3導線式
ケース材質	SUS 304
リード線	2PNCT 1.25*-3C 10m



ユニット型構成図 （参考）

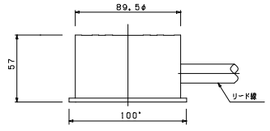


リード線断面図 （参考）

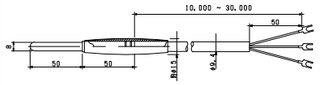


路面水分センサ （参考）

検知方式	抵抗式
ケース材質	SUS 304
内蔵ヒータ	5W
リード線	2PNCT 0.75*-4C 10m



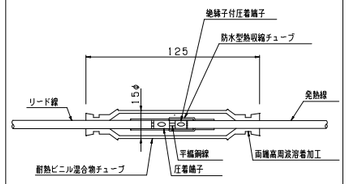
外気温センサ （参考）



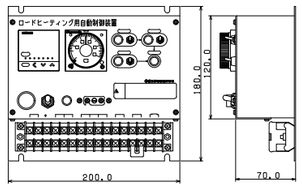
◆ 一般仕様

構 造 ： 防水・耐震・速感形
素 子 ： セラミック形白金測温体 Pt100 at0℃
： 材質 ステンレス製 SUS304
： 寸法 φ8×50mm（挿入部）
リード線 ： 種類 2PNCT 0.75*-3C
測定範囲 ： -30℃~+60℃

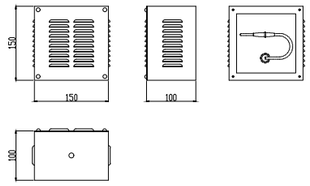
接続部構造図 （参考）

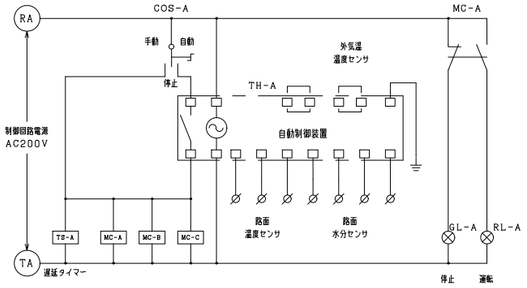


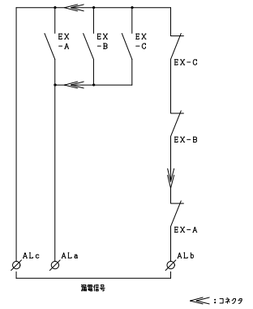
3要素自動制御装置本体姿図（制御盤組込）参考

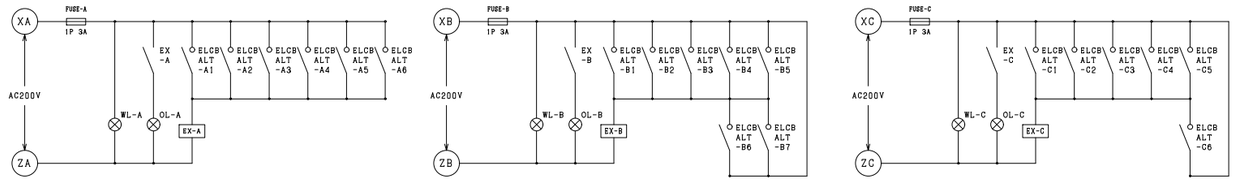


外気温センサ収納ボックス （参考）

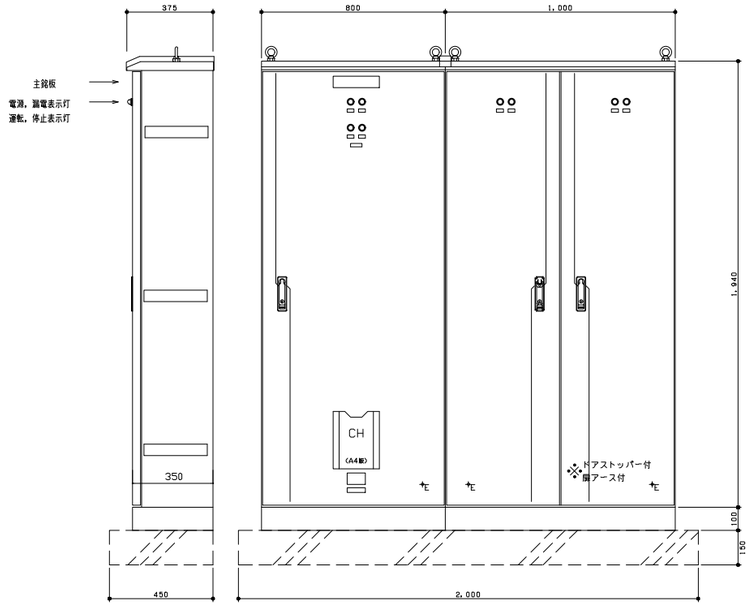






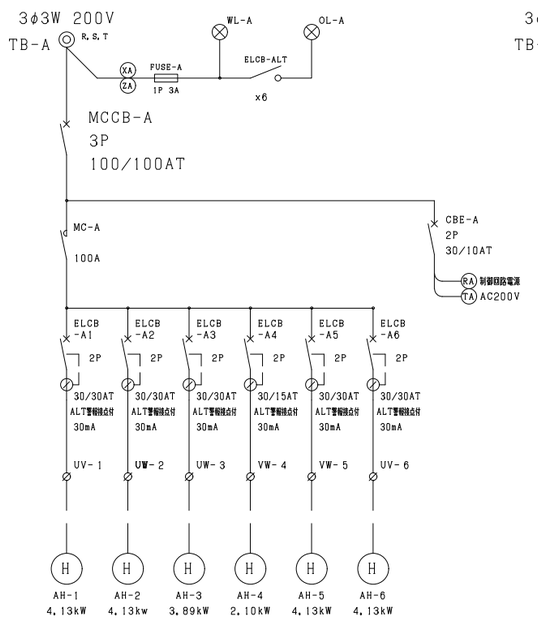


制御回路結線図

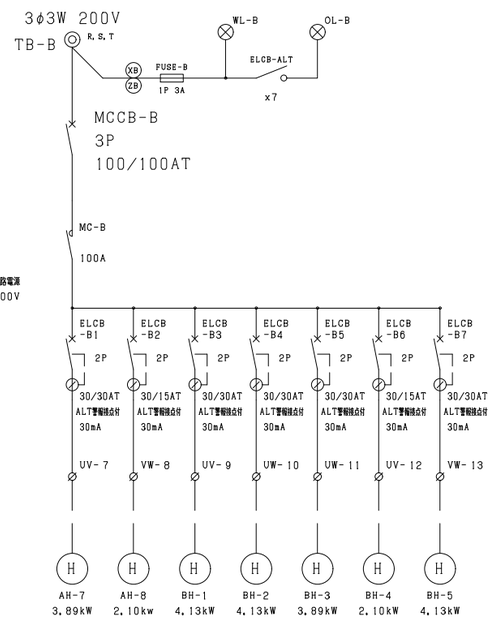


融雪制御盤 （屋外防水仕様 SUS製）

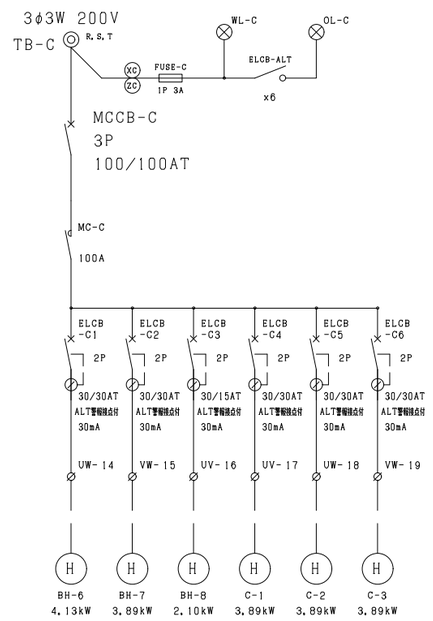
※ 機器構成・仕様・機能・外観・寸法は参考とする。
※ 基礎配筋は、上端筋・下端筋共にD10@200、カゴ筋D10@200。
※ 基礎は建築工事とする。



A回路
単線結線図



B回路
単線結線図



C回路
単線結線図

訂正	
MR・ML	
MR・ML	
MR・ML	
MR・ML	
MR・ML	

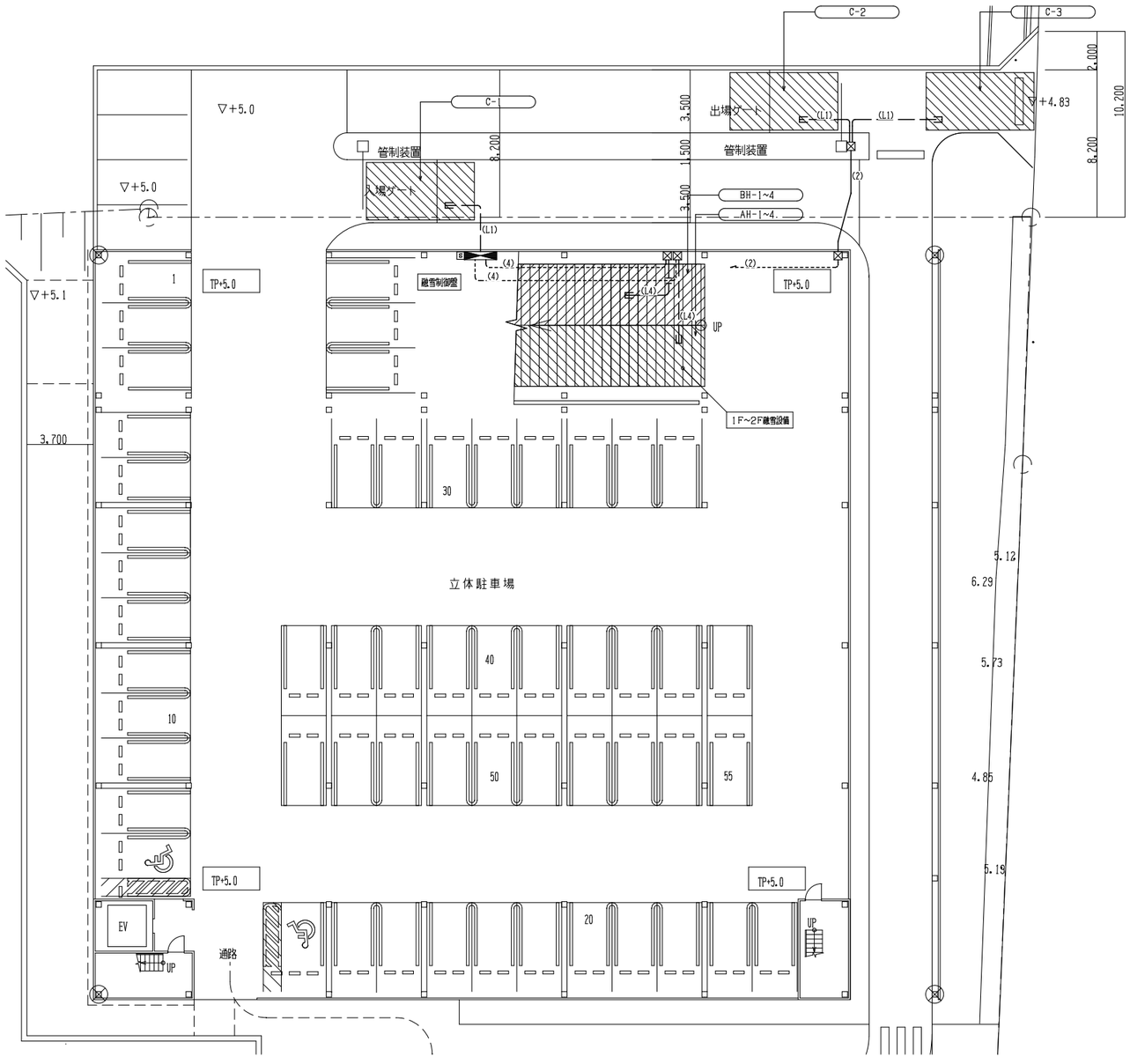
久米・村田設計共同企業体

KUME SEKKEI 株式会社 久米設計

有限会社村田弘建築設計事務所

日付	平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所
PA	小倉 基延 構造 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太
担当	川上 賢史、玄島 雄太		
	二木 重一、石井 康平		

件名	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
図面名	立体駐車場：融雪設備 機器仕様図 制御盤結線図	縮尺 A1= 1/non A3= 1/non
		図面番号 E-15

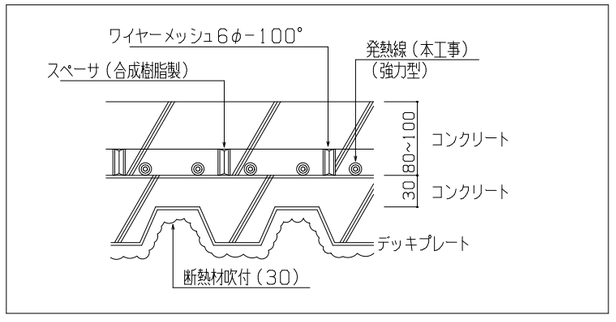


機器凡例

記号	内容
	制御盤
Ⓣ	路面温度センサ
Ⓦ	路面水分センサ
S	外気温センサ
	接続ボックス
	ヒータエリア

配線・配管表

記号	内容	
(L1)	RHVV5.5°-1CX2	(PF22)
(L4)	RHVV5.5°-1CX4	(PF28)
	RHVV5.5°-1CX4	(PF28)
Ⓣ	2PNCT1.25°-3C	(PF22)
Ⓦ	2PNCT0.75°-4C	(PF22)
(4)	CV5.5°-2C E3.5°	(G28Zn)
	CV5.5°-2CX3	(G28Zn)X3
(2)	CV5.5°-2C E3.5°	(G28Zn)
	CV5.5°-2C	(G28Zn)
(2)	CV5.5°-2C E3.5°	(FEP30)埋設部
	CV5.5°-2C	

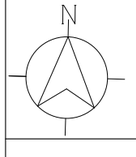


推奨断面図（デッキプレート）

定格表（RH-A, B）

電源種別	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V
総電力量 kW	22.51	24.37	21.79
総敷設面積 m^2	112.5	121.5	108.3
総漏洩電流 mA	12.00	13.5	12.36
設計発熱量 W/m^2	200	200	200
制御方式	路面温度・水分検・外気温検知による自動		

ヒータ														
数量	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3
NO.	AH-1, 2	AH-3	AH-4	AH-5, 6	AH-7	AH-8	BH-1, 2	BH-3	BH-4	BH-5	BH-6	BH-7	BH-8	C-1~3
電圧 V	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
電力 kW	4.13	3.89	2.10	4.13	3.89	2.10	4.13	3.89	2.10	4.13	4.13	3.89	2.10	3.89
占有面積 m^2	20.7	19.3	10.4	20.7	19.3	10.4	20.7	19.3	10.4	20.7	20.7	19.3	10.4	19.3
発熱線種別	HHC-37	HHC-37	HHC-110	HHC-37	HHC-37	HHC-110	HHC-37	HHC-37	HHC-110	HHC-37	HHC-37	HHC-37	HHC-110	HHC-37
配線ピッチ mm	80	70	60	80	70	60	80	70	60	80	80	70	60	70
発熱線長さ m	262	278	173	262	278	173	262	278	173	262	262	278	173	278
リード線サイズ mm^2	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5	HRHVV5.5
漏洩電流 mA	2.10	2.22	1.38	2.10	2.22	1.38	2.10	2.22	1.38	2.10	2.10	2.22	1.38	2.22
備考	1階~2階スロープ（上り）			2階~R階スロープ（上り）			1階~2階スロープ（下り）			2階~R階スロープ（下り）				出入口



適記	訂正 MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 検図 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：融雪設備 1階平面図 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300

設計番号 0180038
図面番号 E-16

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8

46500

5000 7800 5300 7800 7800 7800 5000

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

7800 800 5300 7800 7800 6800 5000

411000

2～R階スロープ
融雪設備

BH-1~4
AH-1~4
BH-5~8
AH-5~8

TP+8.0
TP+11.0

DN
UP

駐車場

38 40 45 46 50 55 56 60 65 30 25 13 10 14 20 24 37

47 57 66 23

EV
EVホール
通路
階段1
階段2

仮手摺
A型バリケード

タラップ
（青かご付）

5150
6450

上部 仮設渡り廊下
仮設渡り廊下
仮設渡り廊下
（別途工事）

スロープ1/20

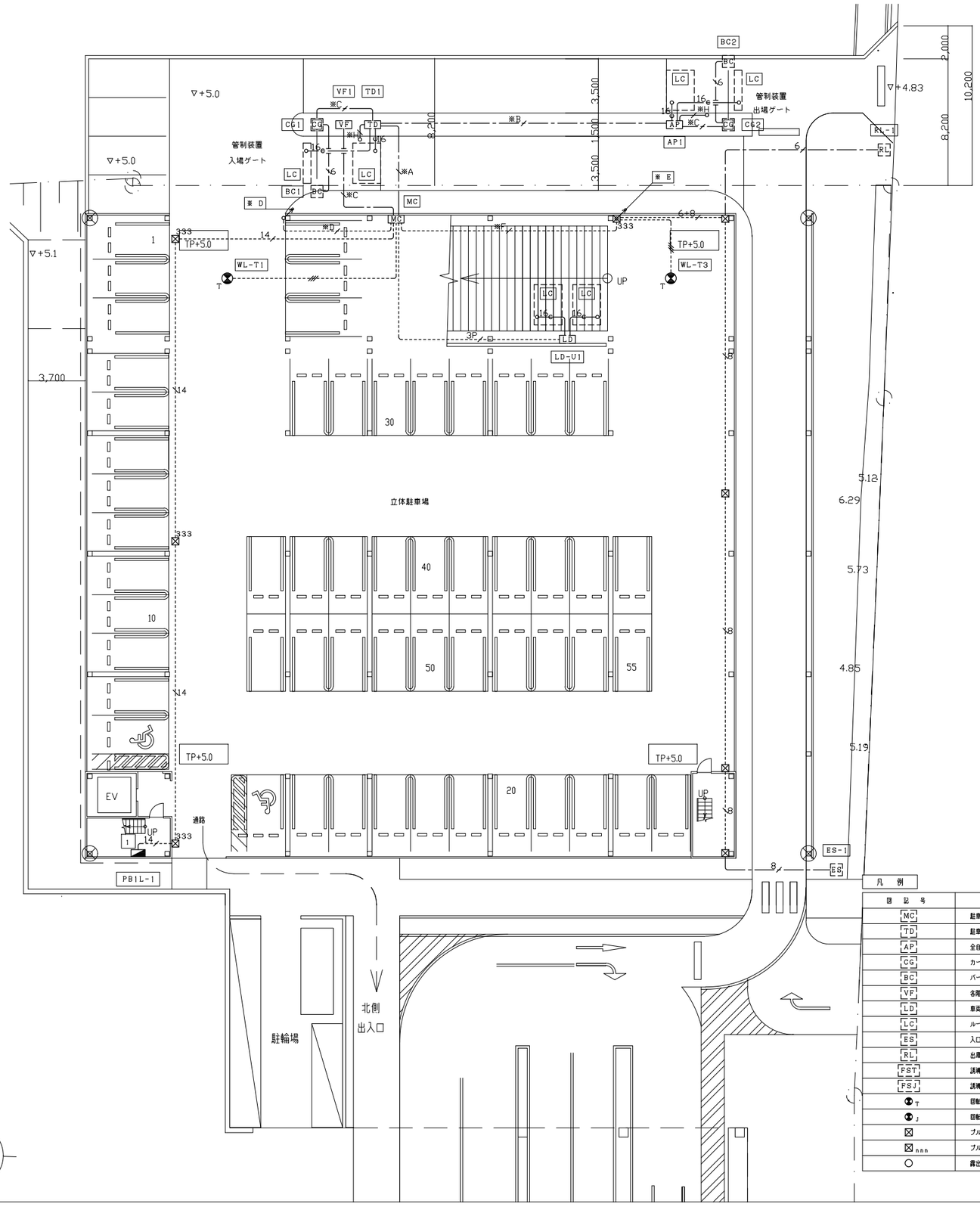
5000 3300 4500

2階平面図

R階平面図

N

適記	訂正 MR・ML / MR・ML / MR・ML / MR・ML / MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 ／ 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 作図 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：融雪設備 2・R階平面図	設計番号 0180038 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300 図面番号 E-17



※A		
CV 3.5*-3C	(FEP30)	屋外
KPEV-SB 0.5*-2P	(FEP50)	屋外
FCPEV-S 0.9-10P		屋外
FCPEV-S 0.9-10P		屋外

※B		
CV 2*-3C	(FEP30)	屋外
CV 3.5*-3C		
KPEV-SB 0.5*-2P	(FEP50)	屋外
FCPEV-S 0.9-10P		屋外
FCPEV-S 0.9-5P		屋外

※C		
CV 2*-3C	(FEP30)	屋外
FCPEV-S 0.9-5P	(FEP30)	屋外

※D		
CV 2*-3C	(G22Zn)	平面駐車場
CV 2*-3C	(G22Zn)	RF
CV 2*-3C	(G22Zn)	2F
CVV 2*-10C	(G28Zn)	平面駐車場
FCPEV-S 0.9-5P	(G28Zn)	平面駐車場
FCPEV-S 0.9-3P	(G22Zn)	RF
FCPEV-S 0.9-3P	(G22Zn)	2F
----G28Zn------	(G28Zn)	平面駐車場
----G28Zn------	(G28Zn)	平面駐車場
----G22Zn------	(G22Zn)	平面駐車場
----G22Zn------	(G22Zn)	平面駐車場

※E		
CV 2*-3C	(G22Zn)	2F
CVV 2*-8C	(G28Zn)	2F
FCPEV-S 0.9-3P	(G22Zn)	2F

※F		
※E +		
CV 2*-3C	(G22Zn)	1F
CVV 2*-8C	(G28Zn)	屋外
CVV 2*-6C	(G22Zn)	屋外

※G		
CV 2*-3C	(G22Zn)	平面駐車場
CVV 2*-10C	(G28Zn)	平面駐車場
FCPEV-S 0.9-5P	(G28Zn)	平面駐車場
----G28Zn------	(G28Zn)	平面駐車場
----G28Zn------	(G28Zn)	平面駐車場
----G22Zn------	(G22Zn)	平面駐車場
----G22Zn------	(G22Zn)	平面駐車場

※H		
CV 2*-3C	(G22Zn)	屋外

凡　例

図　記　号	名　　称	仕　　様	備　考
MC	駐車管制盤		
TD	駐車券発行機		
AP	全自動料金精算機		
CG	カーゲート		
BC	バーキャッチャー		
VF	各階漏里灯	4フロア用	
LD	車両検知器		
LC	ループコイル		
ES	入口表示灯		
RL	出庫警報灯		
FST	誘導表示灯	吊下型	
FSJ	誘導表示灯	自立型	
●T	頭脳警報灯	吊下型	
●J	頭脳警報灯	自立型	
⊠	プルボックス	WP：溶融亜鉛メッキ防水型 200□x100	
⊠nnn	プルボックス	WP：溶融亜鉛メッキ防水型	n：サイズは図示
○	露出ジョイントボックス	溶融亜鉛メッキ	

凡　例

図　記　号	内　　訳		保護管	備　考
----14E------	CVT 14* E5.5*	(G36Zn)	G36Zn	露出配管配線
------//------	CV 2*-3C	(G22Zn)	G22Zn	露出配管配線
----6E------	CVV 2*-6C	(G22Zn)	G22Zn	露出配管配線
----8E------	CVV 2*-8C	(G28Zn)	G28Zn	露出配管配線
----10E------	CVV 2*-10C	(G28Zn)	G28Zn	露出配管配線
----5P------	FCPEV-S 0.9-5P	(G28Zn)	G28Zn	露出配管配線
----3P------	FCPEV-S 0.9-3P	(G22Zn)	G22Zn	露出配管配線
----G28C------	G28Zn	(呼鉄線共)	G28Zn	露出配管
----G22C------	G22Zn	(呼鉄線共)	G22Zn	露出配管
——6E——	CVV 2*-6C	(FEP30)	FEP30	埋設配管配線
——8E——	CVV 2*-8C	(FEP30)	FEP30	埋設配管配線
——16C——	PF-S16			埋設配管

※ケーブル配線において壁の立上げ立下げ部分は保護管にて保護すること。

※防火区画及び防火上主要間仕切り貫通部は国土交通大臣認定工法により防火処理を施すこと。

通記

訂正	MR・ML
	MR・ML
	MR・ML
	MR・ML
	MR・ML

久米・村田設計共同企業体

KUME SEKKEI 株式会社 久米設計

有限会社村田弘建築設計事務所

日付	平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所
PA	小倉 基延　検図 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太
担当	川上 賢史、玄島 雄太		
	二木 重一、石井 康平		

件名	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事
図面名	立体駐車場：車路管制配管配線設備 1階平面図
縮尺	A1= 1/150 A3= 1/300
設計番号	0180038
図面番号	E-18

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8

46500

5000 7800 5300 7800 7800 7800 5000

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

7800 900 5300 7800 7800 6600 5000

411000

平面駐車場（将来用）配管配線 P.B止め

FCPEVO.9-3P(G22Zn)

2~R階スロープ
融雪設備

※D

※E

※G

LD-D1

LD-D2

LD-V2

WL-T4

WL-T2

WL-J

CV2*-3C(G22Zn)

TP+8.0

TP+11.0

DN UP

3P

LC

LD

I5 I6

駐車場

FS-T

階段2

EV

EV ホール

PS

PAPER

通路

仮手摺

A型バリケード

タラップ
（青かご付）

スロープ1/20

上部 仮設渡り廊下

仮設渡り廊下

仮設渡り廊下
（別途工事）

5150 6450

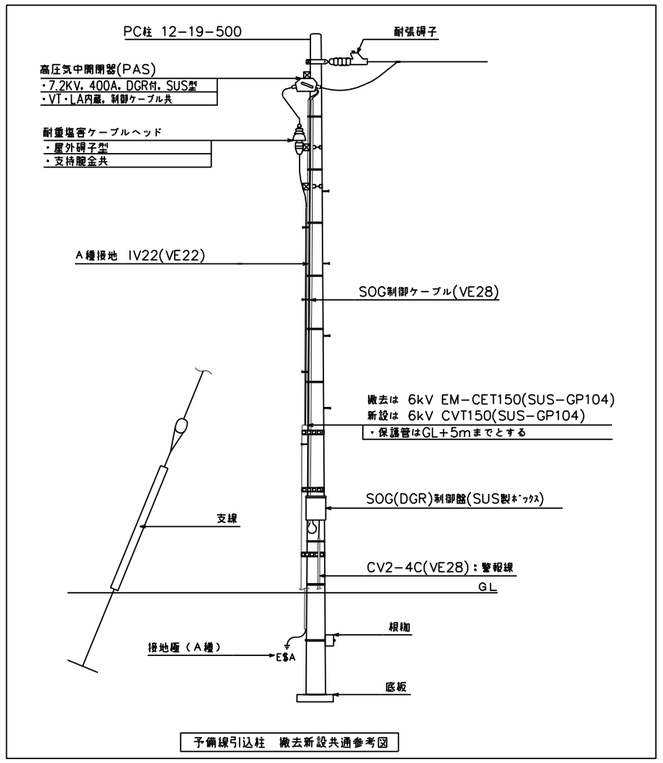
5000 3300 4500

2階平面図

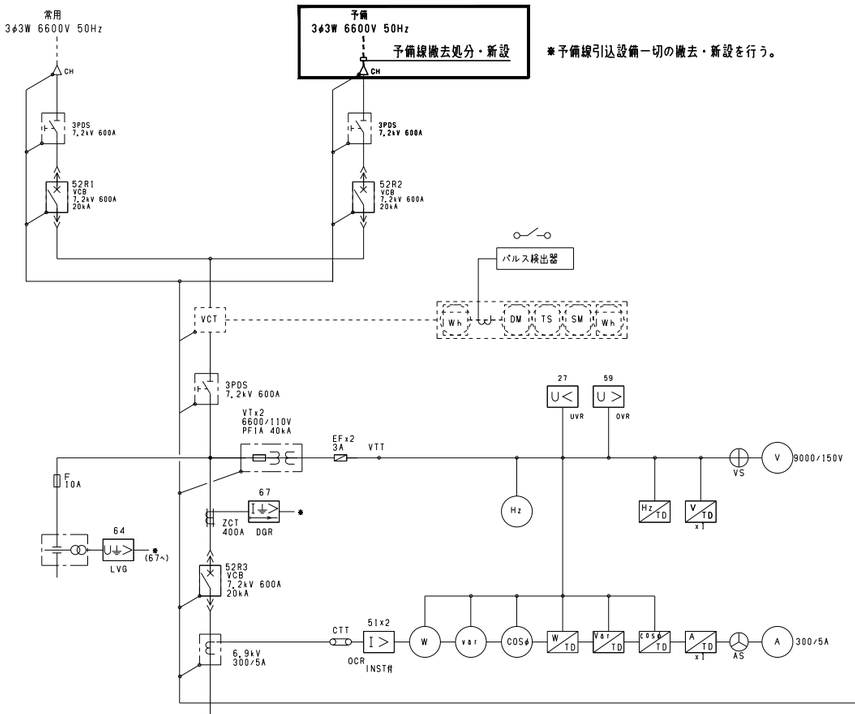
R階平面図

N

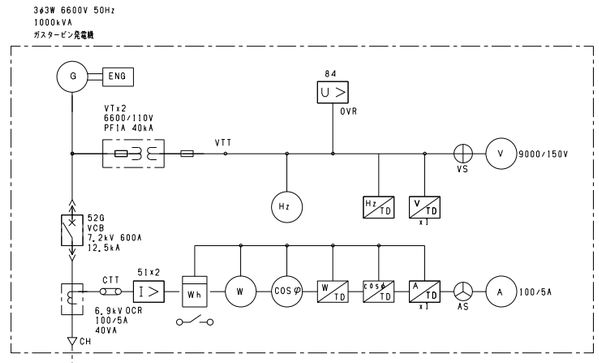
適記	訂正 MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML MR・ML	久米・村田設計共同企業体 KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 ／ 有限会社村田弘建築設計事務所	日付 平成30年12月14日 PA 小倉 基延 構造 高橋 創 担当 川上 賢史、玄島 雄太 二木 重一、石井 康平	株式会社 久米設計 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	有限会社 村田弘建築設計事務所 一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	件名 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 図面名 立体駐車場：車路管制設備 配線設備 2・R階平面図	設計番号 0180038 縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300 図面番号 E-19

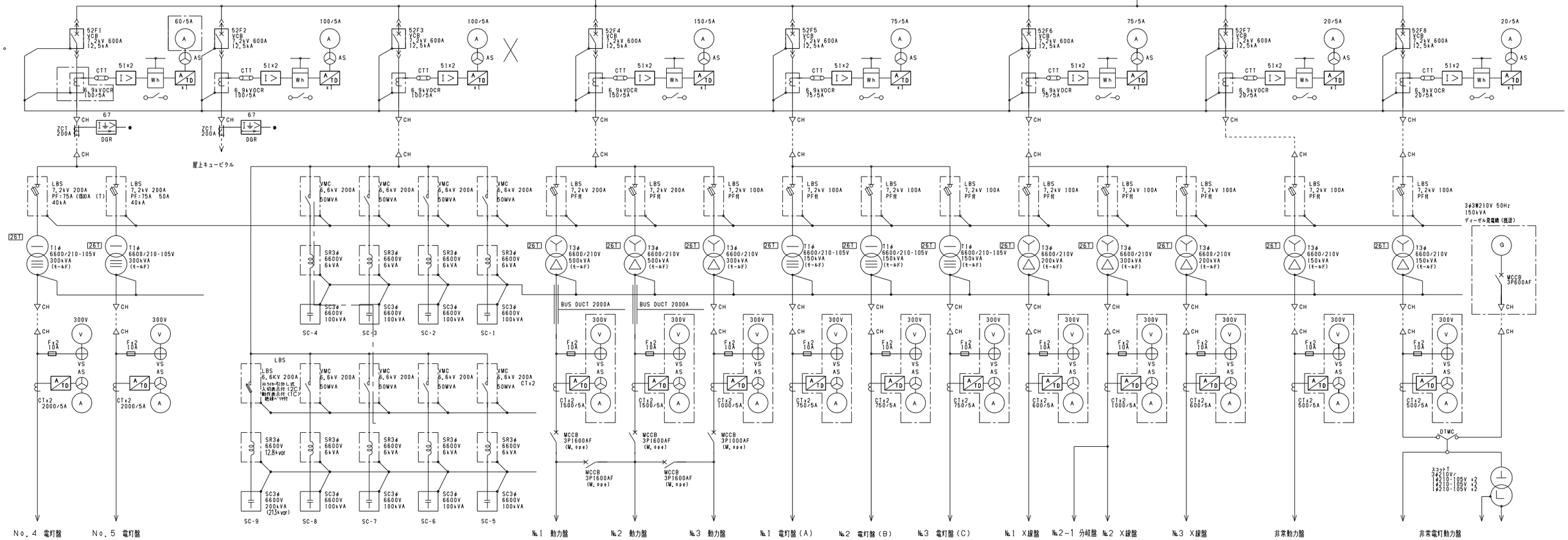


予備線引込柱　撤去新設共通参考図

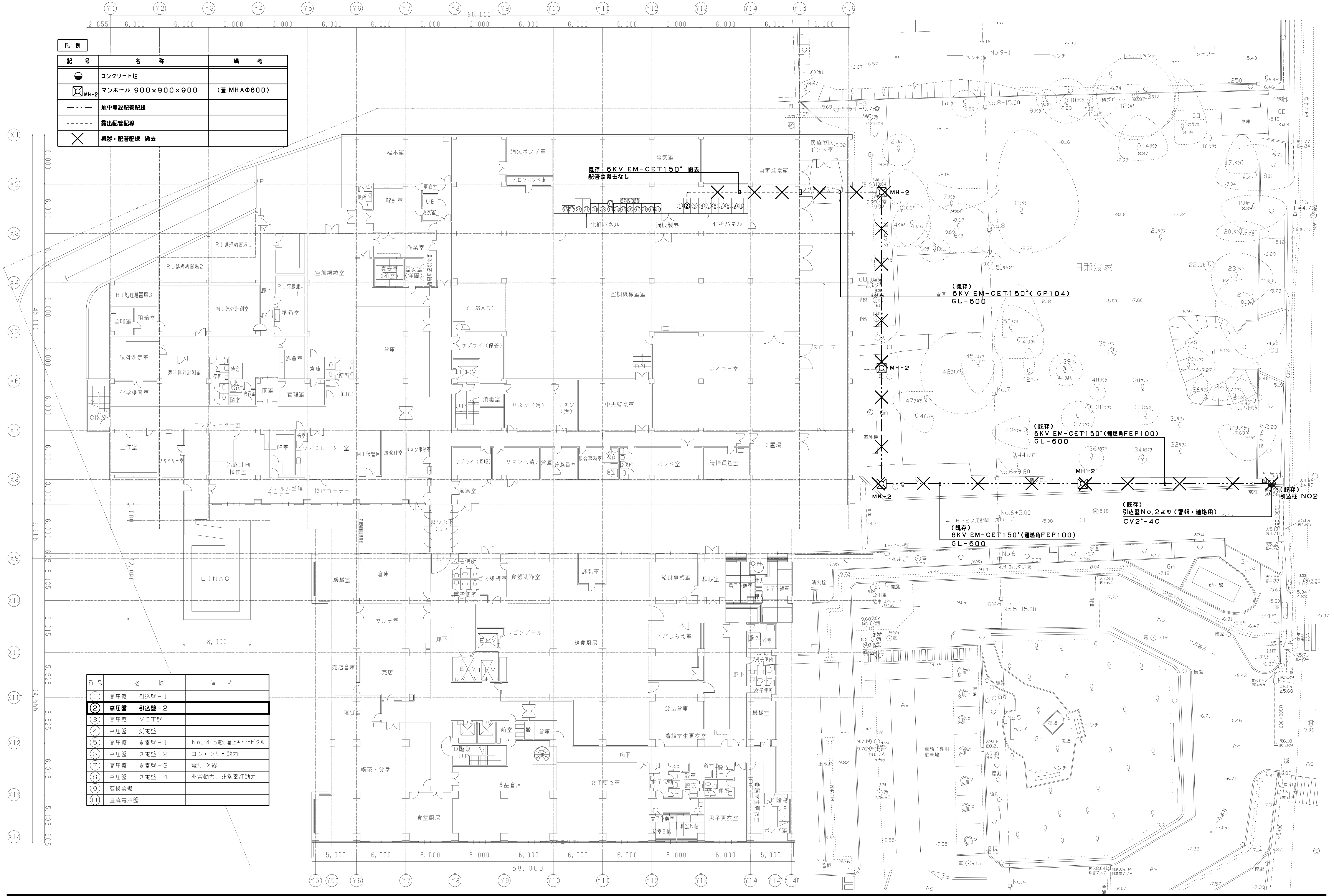


＊予備線引込設備一切の撤去・新設を行う。





記	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院　立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 構造 深井 喜治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名 既設受変電設備　単線結線図	縮尺 A1= NS A3= NS / 図面番号 E - 20
			担当 下田 健也, 谷口 智子				



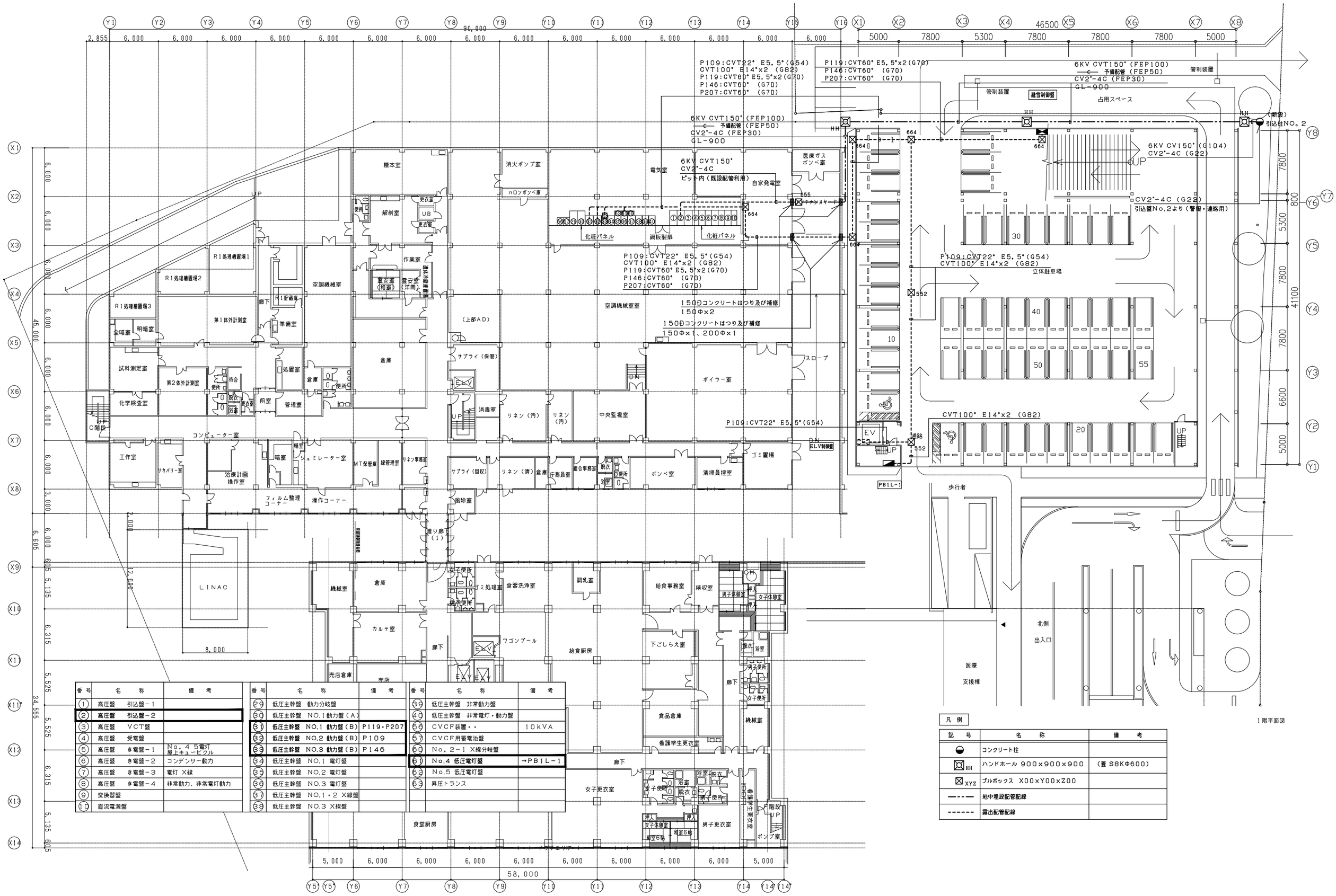
凡例

記号	名称	備考
	コンクリート柱	
MH-2	マンホール 900×900×900	(蓋 MHAΦ600)
—·—·—	地中埋設配管配線	
------	露出配管配線	
×	機器・配管配線 撤去	

番号	名称	備考
1	高圧盤 引込盤-1	
2	高圧盤 引込盤-2	
3	高圧盤 VCT盤	
4	高圧盤 受電盤	
5	高圧盤 き電盤-1	No.4 5電灯屋上キュービクル
6	高圧盤 き電盤-2	コンデンサー動力
7	高圧盤 き電盤-3	電灯 X線
8	高圧盤 き電盤-4	非常動力、非常電灯動力
9	変換器盤	
10	直流電源盤	

久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所
KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 検図 深井 憲治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太
	担当 下田 健也, 谷口 智子		

件名 市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
図面名 屋外電気設備 平面図(撤去) 縮尺 A1= 1/200 A3= 1/400	図面番号 E - 21



番号	名称	備考
1	高圧盤 引込盤－1	
2	高圧盤 引込盤－2	
3	高圧盤 VCT盤	
4	高圧盤 受電盤	
5	高圧盤 き電盤－1	No.4 5電灯 屋上キュービクル
6	高圧盤 き電盤－2	コンデンサー動力
7	高圧盤 き電盤－3	電灯 X線
8	高圧盤 き電盤－4	非常動力、非常電灯動力
9	変換器盤	
10	直流電源盤	

番号	名称	備考
29	低圧主幹盤 動力分岐盤	
30	低圧主幹盤 NO.1動力盤(A)	
31	低圧主幹盤 NO.1 動力盤(B)	P119・P207
32	低圧主幹盤 NO.2 動力盤(B)	P109
33	低圧主幹盤 NO.3 動力盤(B)	P146
34	低圧主幹盤 NO.1 電灯盤	
35	低圧主幹盤 NO.2 電灯盤	
36	低圧主幹盤 NO.3 電灯盤	
37	低圧主幹盤 NO.1・2 X線盤	
38	低圧主幹盤 NO.3 X線盤	

番号	名称	備考
39	低圧主幹盤 非常動力盤	
40	低圧主幹盤 非常電灯・動力盤	
56	CVCF装置・・	10kVA
57	CVCF用蓄電池盤	
60	No.2－1 X線分岐盤	
61	No.4 低圧電灯盤	→PB1L－1
62	No.5 低圧電灯盤	
63	昇圧トランス	

凡例

記号	名称	備考
◒	コンクリート柱	
⊠HH	ハンドホール 900×900×900	(蓋 S8KΦ600)
⊠XYZ	プルボックス X00×Y00×Z00	
—·—·—	地中埋設配管配線	
------	露出配管配線	

追記	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 検図 深井 憲治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太
			担当 下田 健也、谷口 智子		

件名	市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事	設計番号	0180038
図面名	屋外電気設備 平面図(改修) 縮尺 A1= 1/200 A3= 1/400	図面番号	E－22

NO，1 動力盤 500KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
P111	2L－13	41.0	225／225	
P112	3P-11(2)	51.65	225／225	
P113	3P-11(1)	88.86	400／400	
P114	3P-11(3)	71.67	400／300	
P115	3P-11(4) 3P-13	38.02	225／150	
P116	3P－12	43.1	225／200	
P117	1T－1		225／125	
P118	EL－1	11.0	100／100	
P119	**予備**	**22.51**	**100／100**	**→RH-A**
P201	BP-21·22	48.3	225／200	
P202	BP－22	53.45	225／225	
P203	BP-23·24	41.2	225／225	
P204	1P－21	32.625	225／200	
P205	BP-23·24	36.0	225／225	
P206			100／100	
P207	**予備**	**24.37**	**100／100**	**→RH-B**
	計	**603.76 kW**		

NO，2 動力盤 500KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
P101	BP－11	118.85	600／600	
P102	BP-12(1)	94.0	400／400	
P103	BP-12(2)	94.5	400／400	
P104	BP-12(3)	85.0	400／400	
P105	BP-13(1)	86.42	400／400	
P106	BP-13(2)	90.7	400／400	
P107	BP-14(1)	47.13	225／150	
P108	BNF－11		225／200	
P109	**ELV制御盤**	**6.2**	100／ 75	**→立駐ELV**
P110	ヨ ビ		100／100	
P110A			100／100	
	計	**622.80 kW**		

NO，3 動力盤 300KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
P141	BP-13(3)	47.4	225／200	
P142	BP-14(2)	7.825	100／ 50	
P143	BP-13(4)	13.8	100／100	
P144	BP-11(5)	44.124	225／200	
P145			100／100	
P146	**予備**	**21.79**	**100／100**	**→ RH-C**
P211	BP-21·22	34.02	225／200	
P212	BP－24	43.7	225／150	
P213	2P-21·22·23	28.9	100／100	
P214	BP-23·24	82.0	400／400	
	CVCF	10KVA	100／100	
	計	**323.56 kW +10KVA**		

NO，1 電灯盤 150KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
L104	1L－11	51.015	400／300	
L105	1L－12	33.985	225／200	
L106	1L－13	37.872	400／250	
L107	2L－11	46.875	400／250	
L206	2L－21	38.49	225／125	
L207			225／225	
L202	BL-22·BLT-1·1LT-1		225／200	
L208			100／ 50	
	NP照光電源		50／ 15	
	計	208.237KVA		

NO，2 電灯盤 150KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
L101	BL－11	24.655	225／150	
L102	BL－12	21.705	225／150	
L103	BL－13	46.865	400／300	
L201	BL-T1·BL-21	19.35	225／175	
L203	1L-21·22	31.89	225／125	
L204	1L－23	38.375	225／150	
L205	2L－22	20.45	100／100	
	計	203.290KVA		

NO，3 電灯盤 150KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
L108	2L－12	41.60	225／200	
L109	2L－13	26.65	225／150	
L110	3L－11	17.995	225／125	
L111	3L－12	62.375	225／150	
L112	ヨ ビ		100／ 75	
L113	ヨ ビ		50／ 30	
	CVCF直送	10KVA	100／100	
	計	158.620KVA		

NO，4 電灯盤 300KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
	予備	**17.38**	225／200	**→PB1L-1**
	計	**17.38KVA**		

NO，1 X線盤 200KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
P124	X－8	75KVA	225／225	
P125	X－9	75KVA	225／225	
P126	X－10	75KVA	225／225	
	計	225.000 KVA		

NO，2 X線盤 300KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
P121	X－2	100KVA	400／300	
P122(A)	X－6A	50KVA	400／300	
P122(B)	X－6B	50KVA	400／300	
P123	X－7	100KVA	400／300	
	計	300.000 KVA		

NO，2 X線盤 200KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
P131	X－1	20KVA	100／ 75	
P132	X－3	75KVA	225／225	
P133	X－4	75KVA	225／225	
P134	X－5	75KVA	225／225	
P135	X－11	75KVA	225／225	
P136	R－1	50KVA	2P 400／250	
P137	R－2	40KVA	225／125	
P138	R－3	18KVA	2P 100／100	
	計	428.000 KVA		

非常動力盤。。 150KVA

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ		225／200	
P1E1A	消火栓 屋内		100／100	
P1E1B	消火栓 屋外		100／ 75	
P1E3	3P-11(6)		225／200	
	BF－24		100／100	
	BP-13（ﾊﾛﾝ）		100／ 50	
	直流電源盤		100／ 50	（※2）
	発電機盤 1000KVA		100／100	
	発電機盤 150KVA		100／ 30	
	計			

非常電灯。動力盤。。 150KVA(電灯100KVA)

幹線NO	負荷名称	容量	MCCB 3P AF／AT	備考
L191	BL-11·12·13 1L-13・2L-13	8.06	225／125	
L192	1L-11・12 2L-11·13・3L-11	11.6	225／150	
L291	3L－22	13.2	225／125	
L292	1L－22	12.15	225／150	
	IT－1		225／125	
L-2E1	3階切替盤		100／100	
L-2E2	5L-21·5L-23	1.84	100／100	
P-2E1	BP－21	7.5 kW	100／100	
	計	46.85KVA+7.5kW		

注記）
既設配電盤予備回路を使用し立体駐車場設備への電源幹線を供給する

追記	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 検図 深井 憲治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名 既設受変電設備 配電盤負荷表 縮尺 A1= NS A3= NS	図面番号 E - 23
			担当 下田 健也、谷口 智子				

火災代表移報　HP0.9-3P(G16)
ELVインターホン　CPEV-S1.2-5P(G22)
ELV監視制御　CPEV1.2-15P(G28)

火災代表移報　HP0.9-3P(G16)
ELVインターホン　CPEV-S1.2-5P(G22)
ELV監視制御　CPEV1.2-15P(G28)

火災代表移報　HP0.9-3P
ELVインターホン　CPEV-S1.2-5P
ELV監視制御　CPEV1.2-15P

火災代表移報　HP0.9-3P(G16)
ELVインターホン　CPEV-S1.2-5P(G22)
ELV監視制御　CPEV1.2-15P(G28)
立体駐車場

火災代表移報　HP0.9-3P(G16)

ELV制御盤

ELVインターホン　CPEV-S1.2-5P(G22)
ELV監視制御　CPEV1.2-15P(G28)

1階平面図

凡例

記号	名称	備考
ELV	既存病院　ELV監視盤	既設
ELV	立体駐車場　ELV制御盤	
P	立体駐車場　火災受信機	
H	既存病院　火災受信機	既設
442	プルボックス　400×400×200	
------	露出配管配線	

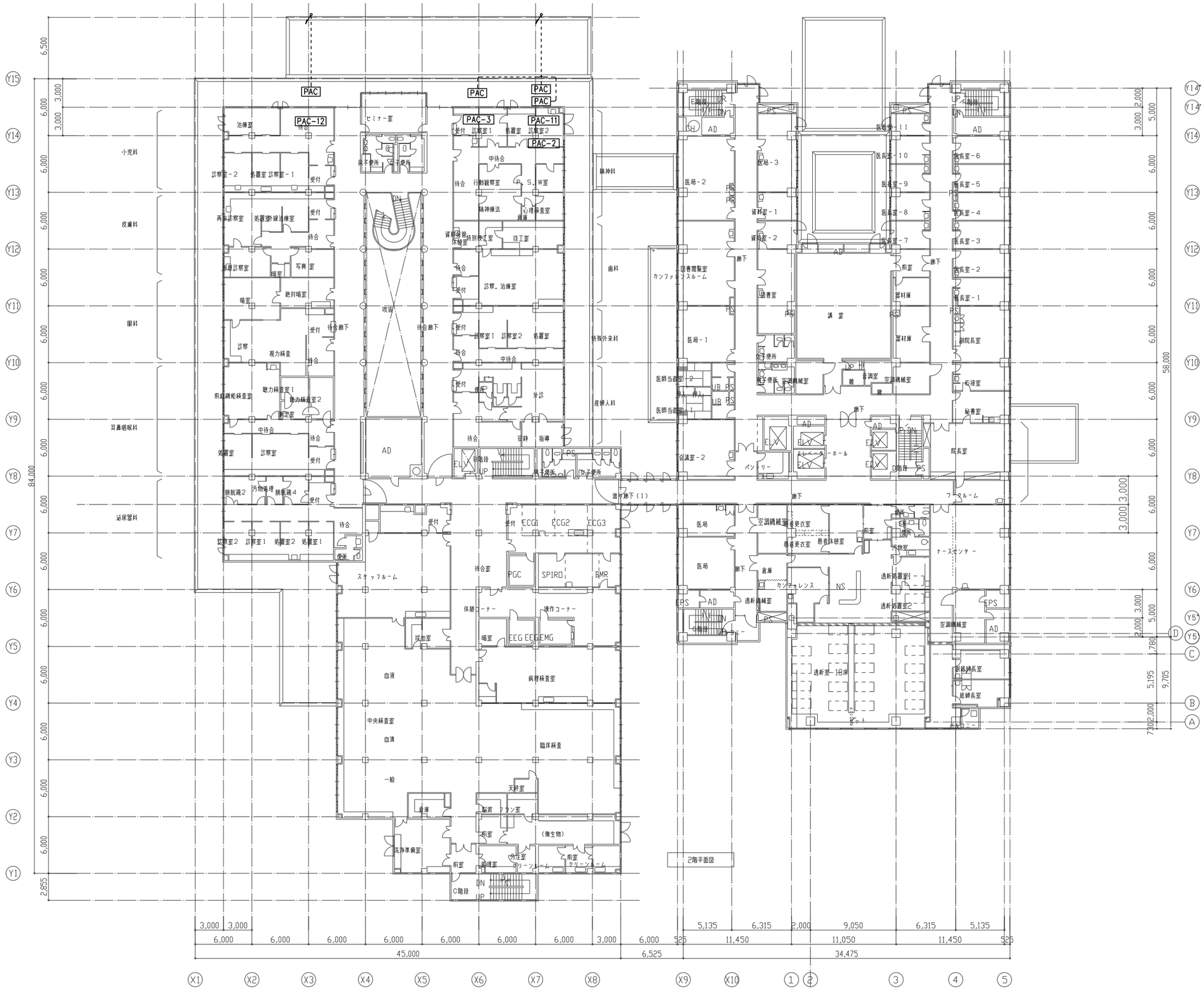
追記	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社　久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院　立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 構造 深井 憲治	一級建築士　登録番号　266585号　高橋　創	一級建築士　登録番号　320305号　村田　良太	図面名 屋外弱電設備　平面図（改修） 縮尺 A1= 1/200 A3= 1/400	図面番号 E - 24
			担当 下田 健也. 谷口 智子				

注記）
既設空調屋外機電源結線の離線
既設空調屋外機移設に伴う
移設先までのケーブルの延線・空調機電源再結線を行う。

紙器番号	負荷容量	配線
PAC−11	3φ200V 2.695kW	CV8sq−4C 冷媒配管カバー（機械工事）内配線
PAC−12	3φ200V 2.75kW	CV8sq−4C 冷媒配管カバー（機械工事）内配線
PAC−2	3φ200V 3.45kW	CV8sq−4C 冷媒配管カバー（機械工事）内配線
PAC−3	3φ200V 9.94kW	CVT22sq E5.5 冷媒配管カバー（機械工事）内配線

1階平面図

追記	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 構造 深井 憲治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	設計番号 0180038
			担当 下田 健也、谷口 智子			図面名 空調屋外機電源 1階平面図（既存） 縮尺 A1= 1/200 A3= 1/400
						図面番号 E − 25



備考	訂正	久米・村田設計共同企業体	日付 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	件名 市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事	設計番号 0180038
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計 / 有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 構造 深井 憲治	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名 空調屋外機電源 2階平面図（既存） 縮尺 A1= 1/200 A3= 1/400	図面番号 E - 26
			担当 下田 健也. 谷口 智子				